

現場説明書（技術的事項）

工事名称 丸之内公園便所新築工事

1 現場の状況

工事場所は、福山市丸之内公園敷地内です。

2 別途工事

給排水衛生設備工事

電気設備工事

公園整備工事

3 福山市週休2日適用工事について

（発注者が指定した工事に該当し実施については○印のついたものを適用する）

- ・ 発注者指定型
- 受注者希望型

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする福山市週休2日適用工事です。詳細については、別紙（公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について）によるものとします。

4 留意事項

【共通事項】

- (1) 工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。
- (2) 工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。
- (3) 資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。
- (4) 道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。
- (5) 工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。
- (6) 工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。
- (7) 工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。
また、工事排水についても管理を徹底し、周辺排水路等に土砂等を流した場合は、速やかに清掃を行ってください。
- (8) 高所作業に当たっては、適切な安全対策を講じ、事故の防止に努めてください。

- (9) 実施工程表は、契約後14日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
- (10) 工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
- (11) 特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
- (12) 工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
- (13) 受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
- (14) 受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

【特記事項】

- (1) 工事範囲内において工事用進入路確保のために行う鉄板敷き等の必要な措置は、受注者で行ってください。
また、仮囲い等については、設計図書等を基に確実にを行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて可動フェンス（H=1.8m）等により工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。
- (2) 現場着手日及び仮設計画は、あらかじめ関連工事業者及び施設管理者と協議の上、決定してください。
- (3) 工事車両の出入は公園敷地東側の設置済みキャスターゲートを別途工事業者（公園整備工事）と、共同で使用してください。また、公園内の動線は別途工事業者（公園整備工事）と協議の上、別途工事である公園整備工事エリア内を利用してください。
- (4) 工事作業及び工事関係車両の搬入出は、8時～17時までとしてください。
- (5) 受注者は、地域行事の運営等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。
- (6) 重機作業等作業については、十分な振動・騒音・粉塵対策を講じてください。
- (7) 重機や産業廃棄物の搬出入、出入口付近の仮囲い設置・撤去に際しては、必要に応じて交通誘導員を適切に配置した上で徐行運転及び一旦停止を行ってください。なお、交通誘導員の配置については、10人を見込んでいます。
- (8) 現地工事完了後、建築指導課による計画通知の完了検査を受けます。その後、技術検査課の完成検査を受けます。
- (9) 施工前に、施工図を提出し監督員の承諾を受けてください。

公共建築工事における福山市週休2日適用工事の実施について

- 1 本工事は、契約締結後において受注者の希望により行う、週休2日適用工事である。
なお、本適用工事の取組を希望しない受注者は、5～12に規定する義務を負わない。
- 2 本工事において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。
 - (1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)毎に現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。ただし、当該期間に、日数が7日に満たない週を含む場合においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで、1週間に2日以上現場閉所等を行っているものとみなす。
 - (2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月毎に現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。ただし、当該期間に、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月を含む場合においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより、4週8休以上であるものとみなす。
- 3 本適用工事に係る用語の定義は、次の各号に定めるものとする。
 - (1) 現場閉所 巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。
 - (2) 現場休息 分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。
 - (3) 対象期間 工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。
 - ア 年末年始6日間及び夏季休暇3日間
 - イ 工場製作のみが行われている期間
 - ウ 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間
- 4 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所(現場休息)計画表兼実績表(以下「計画表」という。)を提出するものとする。
なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日

を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

5 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

- (1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合
- (2) その他工程の都合上やむを得ない場合

6 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を、施設管理者の承諾を得て所定の様式により公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。

7 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。

8 週休2日を理由とする工期延長については、認めないものとする。

9 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

10 経費については、次の各号に掲げる現場閉所等の実績に基づき、当該各号に定める補正係数を用いて労務費（予定価格のもととなる工事費の積算に用いる複合単価、市場単価及び物価資料の掲載価格（材工単価）の労務費とする。）及び現場管理費を補正するものとする。

なお、発注時点では、週休2日の経費を見込んでおらず、現場閉所等の実績に基づき、変更契約を行うものとする。

(1) 完全週休2日（土日）

ア 労務費	1.02
イ 現場管理費	1.01

(2) 月単位の週休2日

労務費	1.02
-----	------

11 週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

なお、週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

12 計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行った場合は、指名除外措置の対象となる場合がある。

丸之内公園便所新築工事

図 面 リ ス ト			
図面番号	図 名	図面番号	図 名
1	図面リスト	16	建具配置図・建具表(1)
2	建築工事 特記仕様書 No.1	17	建具表(2)・建具詳細図(1)
3	建築工事 特記仕様書 No.2	18	建具詳細図(2)
4	建築工事 特記仕様書 No.3	19	部分詳細図
5	建築工事 特記仕様書 No.4	20	サイン配置図・サイン詳細図
6	建築工事 特記仕様書 構造関係	21	ボーリング柱状図
7	鉄筋工事仕様書 No.1	22	伏図
8	鉄筋工事仕様書 No.2	23	軸組図(1)
9	付近見取図・配置図	24	軸組図(2)
10	面積積求積図・平均地盤面算定図	25	部材リスト
11	平面図・天井伏図	26	配筋要領図(1)
12	平面詳細図・仕上表	27	配筋要領図(2)
13	立面図・断面図	28	壁平面配筋詳細図
14	展開図(1)	29	A通り架構配筋詳細図
15	展開図(2)		

福山市建設局建築部営繕課			2025年 9月		
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項	項	特記事項		
7	金属成形板張り (14.6.2~3) 種別 アルミスパンデル (既製品) 製法 ・押し出し形材 ・板曲げ 寸法 (mm) 幅 板厚 形状 表面処理 伸縮継手 ※設けない ・設ける (場所は図示)	8	アルミニウム製立木 (14.7.2~3) ※押し出材 ・曲げ材 部材の種類 ・250形 (呼称肉厚は1.6以上) ・300形 (呼称肉厚は1.8以上) ・350形 (呼称肉厚は2.0以上) 表面処理 種別 () 種 立木等の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ※図示による	4	・木下地 性能項目 種別 種別 ・D種 ・E種 耐風圧性 ※S-2 気密性 ※A-3 水密性 ※W-3 枠の見込み寸法 (mm) 耐風圧性は取付高さに適用したものとす。 表面処理 種別 ・外部 ・内部 ・B-1種 ・C-1種 着色の色合 ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による	11	自動ドア開閉装置 (16.9.2) 戸の開閉方式 ・図示による 自動ドア開閉装置の性能 ・図示による 駆動装置の性能 ※引き戸用駆動装置の場合、標準仕様書表16.9.11による ・防錆の適用 ・適用する ・適用しない 車椅子使用者用出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※標準仕様書表16.9.11による ・防錆の適用 ・適用する ・適用しない 検出装置の性能 ※引き戸用検出装置の性能は標準仕様書表16.9.31による ・防錆の適用 ・適用する ・適用しない 引き戸用検出装置の種類 標準仕様書表16.9.41による 種類・光線 (反射) センサー ・熱線センサー ・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー ・タッチスイッチ (・無線式タッチスイッチ ・光式タッチスイッチ) ・押しボタンスイッチ ・車椅子使用者便用スイッチ (・大形 (開) 押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ) 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない 性能 ※標準仕様書表16.10.11による ・図示による	4	⑤ 塗装 (18.4.1~18.12.2) 種別 (18.4.1~18.12.2) (表18.4.1~表18.12.1) ・合成樹脂顔合ペイント塗 (SOP) ・クリアラッカー塗り (CL) ・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD) ○耐候性塗料塗り (DP) ・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G) ・合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP) ・ウレタン樹脂ワニス塗り (UC) ・ステイン塗り ・木材保護塗料塗り (WP)
15	1 ラス系下地 (15.2.4) 2 セッコウボード、 その他のボード下地 (15.2.5) 3 こまい下地 (15.2.6) 4 木ずり下地 (15.2.7) 5 モルタル塗り (15.3.2~5) 6 セルフレッシング 材塗り (15.5.2) 7 仕上塗材仕上げ (15.6.2)	5	樹脂製建具 (16.3.2~16.3.5) 性能及び構造 外部に面する樹脂製建具の性能等級 ・コンクリート系下地及び鉄骨下地 性能項目 種別 ・A種 ・B種 ・C種 耐風圧性 S-4 気密性 A-4 水密性 W-4 枠の見込み寸法 (mm) 種別 ・D種 ・E種 耐風圧性 S-2 気密性 A-4 水密性 W-3 枠の見込み寸法 (mm) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による 外部に面する建具の日射熱取得性の等級 ガラス ※複層ガラス 表面色 ・標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示による 木下地の内付け建具 ・適用する (建具の製造所の仕様) ・適用しない ・簡易気密型ドアセット 気密性、水密性の等級 ・標準仕様書表16.4.1による 外部に面する建具の耐風圧性 ※S-4 ・S-5 ・S-6 (表16.2.1) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による ・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※図示による ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 点検口の隅のくつずりの材料 鋼板類の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.4.2による (W) を超える場合 ※図示による (W) 1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm ステンレス製くつずりの仕上げ ※H L 標準型鋼製軽量建具の有効寸法寸法 (表16.4.5による) ・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による) ・簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・A-3 (表16.5.2) ・防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ※図示による ・断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ※図示による ・耐震ドアセット、面内変形追従性の等級 ※図示による 鋼板・鋼板 (16.5.3.1.7) ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 鋼板の厚さ (W) 以下の場合 ※表16.5.1による (W) を超える場合 ※図示による (W) 1枚の戸の有効開口幅950mm又は有効高さが2,400mm ステンレス製くつずりの仕上げ ※H L 標準型鋼製軽量建具の有効寸法寸法 (表16.4.5による) ・適用する (建具符号、形式及び寸法は建具表による)	12	12 引戸装置 (16.10.3) 13 重量シャッター (16.11.2~3) シャッターの種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター 引戸装置 (16.10.3) ・屋内用防火シャッター ・防塵シャッター 外壁開口部に設ける重量シャッター 耐風圧強度 () pa 開閉方式の種類 ※ 電動式 (手動併用) ・ 手動式 (表16.11.1) 防火・防煙シャッターは、自動閉鎖機構及び同時閉鎖機構付とし、連動制御及び煙感知器は別途とする。 安全装置の設置箇所 安全装置 設置箇所 ・急降下制動装置 ・急降下停止装置 ・障害物感知装置 ・急降下防止機構 管理用シャッターのシャッターケース ・ 設ける ・ 設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12 ステンレス鋼板の種類 ※SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 (16.11.3) (表16.12.1) 14 軽量シャッター (16.12.2~4) 開閉形式 ・ 電動式 (手動併用) ※ 手動式 (表16.12.1) 耐風圧強度 () pa (表16.12.2) 電動式の場合の安全装置 安全装置 設置箇所 ・ 障害物感知装置 スラットの材質の種類 ・JIS G3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z06又はF06 ・JIS G3322 (塗装溶融亜鉛55%Ni-めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※AZ90 スラットの種類 ・ インターロック型 ・ オーバーラッピング型	6	① 接着剤等 (19.2.2) (19.3.2) (19.5.4) (19.5.5) (19.7.2) (19.9.3) 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の ゴム床タイル用接着剤の主成分による区分 ・ 図示による 下地の施工 標準仕様書表19.2.3(1) (7) ~ (7) 以外の下地の工法 ・ 図示による		
19	1 防火戸の指定 (16.1.3) 2 見本の製作等 (16.1.4) 3 アルミニウム 製建具 (16.2.2~16.2.5)	6	⑥ 鋼製建具 (16.4.2~6) ⑦ 鋼製軽量建具 (16.5.2~6) 8 ステンレス製建具 (16.6.2~5) 9 木製建具 (16.7.2~4) 10 建具用金物 (16.8.1~4)	17	1 カーテンウォール (17.1.3) カーテンウォール工事 (17.2.2~6) (17.3.2~6) 耐風圧性 ※ 建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた 風圧力に対して安全を確認したもの。 ・ 正圧 N/m ² 以上、負圧 N/m ² 以上に対して安全なもの 耐水平方向に対する地震力係数 ※ 1.0 震動方向に対する地震力係数 ※ 0.5 性能層間変位追従性 S造 ※ 1/200以上 R C、SRC造 ※ 1/300以上 ・ 水密性 ・ W-4 ・ W-5 ・ 気密性 ・ A-3 ・ A-4 ・ 耐火性 ・ 耐温度差性 ・ 遮音性 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 ・ T-4 ・ 断熱性 性能の確認方法及び判定方法 ※性能の確認及び判定方法が確認できる適切な資料 その他の性能 ・ 図示による 種類 ・ メタルカーテンウォール ・ 金属材料その他の材料 ※ 図示による ・ P Cカーテンウォール 製作所	19	1 防火戸の指定 (16.1.3) 2 見本の製作等 (16.1.4) 3 アルミニウム 製建具 (16.2.2~16.2.5)		

<p>5 フローリング張り (19.5.2~5)</p> <p>種別 A種 B種 C種 D種 (畳床:) (19.6.2)(表19.6.1)</p> <p>6 畳敷き (19.6.2)</p> <p>7 セッコウボードその他ボード及び合板張り (19.7.2~3)</p>	<p>特記事項 (19.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>大きさ(mm)</th> <th>仕上塗装</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フローリング等</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> <td rowspan="2">・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・フローリング等</td> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ 8以上</td> <td>板幅75以上 板長さ400以上</td> <td rowspan="2">・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 複合フローリング (19.5.2~5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ等</th> <th>防湿処理</th> <th>仕上塗装</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・天然木化粧複合フローリング</td> <td>・釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td rowspan="2">※ 図示による</td> <td>・ 適用する</td> <td>・ 塗装品</td> </tr> <tr> <td>・釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 適用しない</td> <td>・ 無塗装品</td> </tr> <tr> <td>・接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>フローリングのホルムアルデヒド放散量等 ※ F☆☆☆☆、接着剤等不使用 (単層フローリングに限る)、ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 (単層フローリングに限る)、非ホルムアルデヒド系接着剤使用並びに非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用とする。</p> <p>※ 製造所及び製品名 ()</p> <p>接着工法の場合の不陸緩和材 ※ 合成樹脂発泡シート (19.5.5)</p>	種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装	・フローリング等	・釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75以上 板長さ400以上	・フローリング等	・接着工法	※ なら	・ 8以上	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・接着工法	※ なら	・	・	種類	工法	樹種	厚さ等	防湿処理	仕上塗装	・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※ なら	※ 図示による	・ 適用する	・ 塗装品	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 適用しない	・ 無塗装品	・接着工法	※ なら	・	・	・	・	<p>8 壁紙張り (19.8.2)</p> <p>9 断熱材 (19.9.3~4)</p> <p>10 ニート及びその他の工事</p> <p>11 フリーアクセスフロア (20.2.2)</p> <p>12 可動間仕切 (20.2.3)</p> <p>13 移動間仕切 (20.2.4)</p> <p>14 トイレブース (20.2.5)</p> <p>15 手すり (20.2.6)</p> <p>16 階段滑り止め (20.2.7)</p> <p>17 黒板及びホワイトボード (20.2.9)</p> <p>18 表示 (20.2.11)</p> <p>19 ブラインド (20.2.14)</p> <p>20 カーテン及びカーテンレール (20.2.16)</p>	<p>特記事項 (19.8.2)</p> <p>特記事項 (19.9.3)</p> <p>特記事項 (19.9.4)</p> <p>特記事項 (20.2.2)</p> <p>特記事項 (20.2.3)</p> <p>特記事項 (20.2.4)</p> <p>特記事項 (20.2.5)</p> <p>特記事項 (20.2.6)</p> <p>特記事項 (20.2.7)</p> <p>特記事項 (20.2.9)</p> <p>特記事項 (20.2.11)</p> <p>特記事項 (20.2.14)</p> <p>特記事項 (20.2.16)</p>	<p>21 スクリーン</p> <p>22 くつきマット</p> <p>23 厨房器具</p> <p>24 ピクチャーレール</p> <p>25 ブラインドボックス</p> <p>26 カーテンボックス</p> <p>27 消火器ボックス</p> <p>28 視覚障がい者用誘導ブロック</p> <p>29 家具類</p> <p>30 排水工</p> <p>31 排水管 (21.2.1)</p> <p>32 排水溝 (21.2.1)</p> <p>33 埋戻しに用いる材料 (21.2.1)</p> <p>34 樹蓋 (21.2.1)</p> <p>35 溝蓋 (21.2.1)</p> <p>36 舗装工</p> <p>37 路床 (22.2.2~5)</p> <p>38 路盤 (22.3.2~5)</p> <p>39 アスファルト舗装 (22.4.2~6)</p> <p>40 コンクリート舗装 (22.5.2~6)</p> <p>41 カラー舗装 (22.6.2~6)</p> <p>42 透水性 (22.7.2~6)</p> <p>43 ブロック系舗装 (22.8.2~3)</p> <p>44 区画線</p> <p>23 補給地の確認 (23.1.3)</p> <p>24 植栽基盤 (23.2.2)</p> <p>有効土層の厚さ (cm) (表23.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">樹高</th> <th colspan="3">高木</th> <th>低木</th> <th rowspan="2">芝、地被類</th> </tr> <tr> <th>12m以上</th> <th>7~12m未満</th> <th>3~7m未満</th> <th>3m未満</th> </tr> <tr> <td>有効土層</td> <td>※ 100</td> <td>※ 60</td> <td>※ 60</td> <td>※ 50</td> <td>※ 20</td> </tr> </table> <p>工法 樹木 ※ A種 B種 C種 D種 芝及び地被類 ※ A種 B種 C種 D種 土壌改良材 ※ バーク堆肥 汚泥発酵肥料 (下水汚泥コンポスト)</p> <p>3 支柱材 支柱材 ※ 杉の焼丸太 竹</p> <p>4 芝 (23.4.2) 種類 ※ コウライシバ ノシバ</p>	樹高	高木			低木	芝、地被類	12m以上	7~12m未満	3~7m未満	3m未満	有効土層	※ 100	※ 60	※ 60	※ 50	※ 20
種類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	仕上塗装																																																															
・フローリング等	・釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品																																																															
	・釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75以上 板長さ400以上																																																																
・フローリング等	・接着工法	※ なら	・ 8以上	板幅75以上 板長さ400以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品																																																															
	・接着工法	※ なら	・	・																																																																
種類	工法	樹種	厚さ等	防湿処理	仕上塗装																																																															
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※ なら	※ 図示による	・ 適用する	・ 塗装品																																																															
	・釘留め工法 (直張り)	※ なら		・ 適用しない	・ 無塗装品																																																															
・接着工法	※ なら	・	・	・	・																																																															
樹高	高木			低木	芝、地被類																																																															
	12m以上	7~12m未満	3~7m未満	3m未満																																																																
有効土層	※ 100	※ 60	※ 60	※ 50	※ 20																																																															

Main table containing project specifications, material properties, and construction methods. It is organized into columns for different construction items (e.g., Foundation, Concrete, Steel Reinforcement) and includes various tables for material grades, strength requirements, and testing procedures.



福山市建設局建築部管轄課 設計 2025年 9月

工事名称 丸之内公園便所新築工事 建築工事 特記仕様書 構造関係

鉄筋工事仕様書 No. 1

この仕様書は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）5章鉄筋工事により作成する。この仕様書及び図面に明示なき場合は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）5章鉄筋工事による。

鉄筋の折曲げ基準

鉄筋の折曲げ形状及び寸法表。折曲げ角度、折曲げ図、折曲げ内法直径(D)の表。180°, 135°, 90°の折曲げ形状と寸法を示す。また、折曲げ内法直径(D)別の寸法も示す。

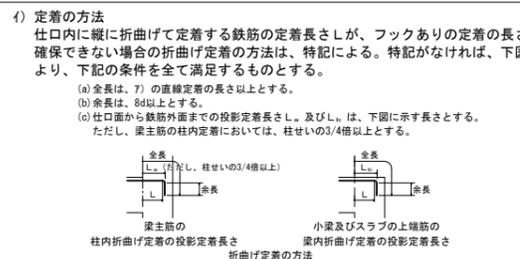
異形鉄筋のフック

次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にフックを付ける。1) 柱の四隅にある主筋の重ね継手。2) 最上階の柱の四隅にある主筋の柱頭の定着。3) 梁の出隅及び下端の両側にある梁主筋の重ね継手。4) 煙突の鉄筋。5) 杭基礎のベース筋。6) 帯筋、あばら筋及び幅止筋。

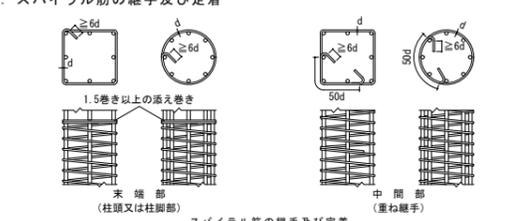
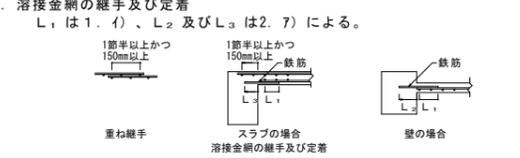
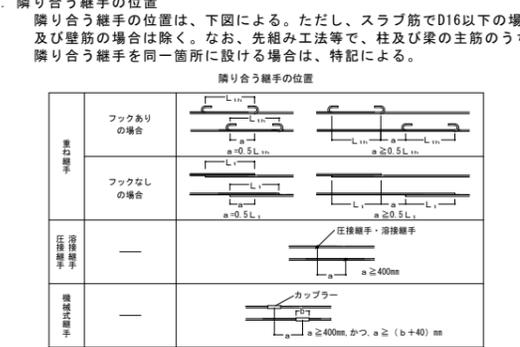
鉄筋の重ね継手の長さ表。鉄筋の種類、設計基準強度、L1, L2, L3, L4, L5, L6の寸法を示す。

鉄筋の定着の長さ。鉄筋の種類、設計基準強度、L1, L2, L3, L4, L5, L6の寸法を示す。

鉄筋の定着の長さ詳細表。鉄筋の種類、設計基準強度、直線定着の長さ、フックあり定着の長さの表。

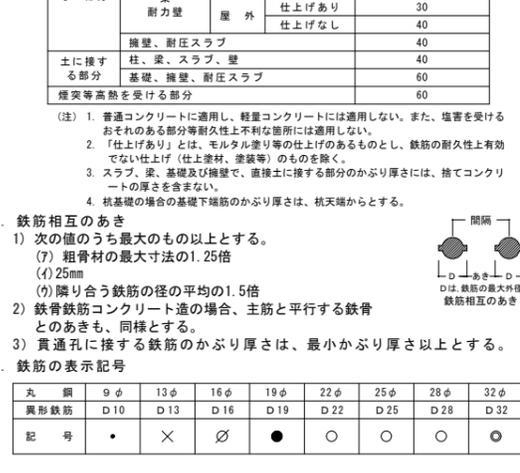


鉄筋の投影定着長さ表。鉄筋の種類、コンクリートの設計基準強度、L1, L2の寸法を示す。

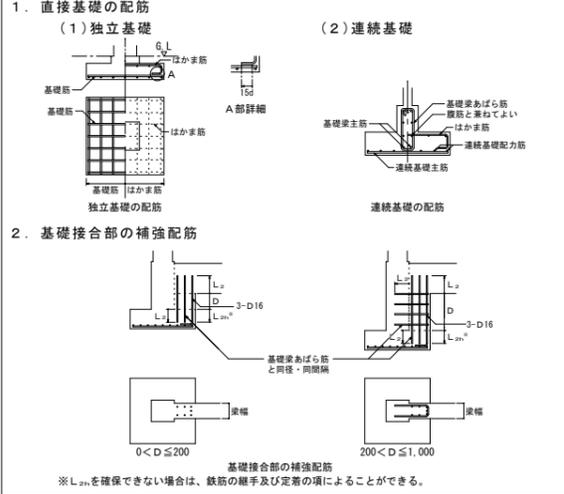


鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

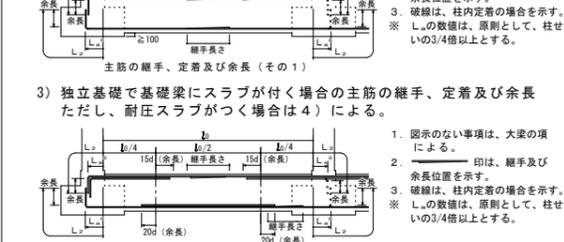
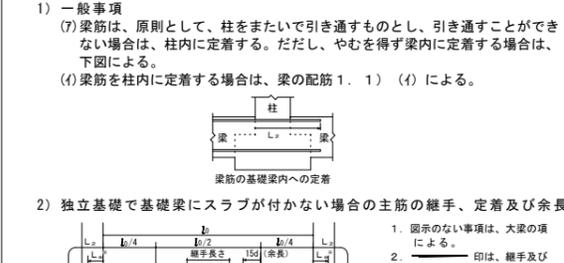
鉄筋及び溶接金網の最小のかぶり厚さ表。構造部分の種類、最小かぶり厚さ(mm)を示す。



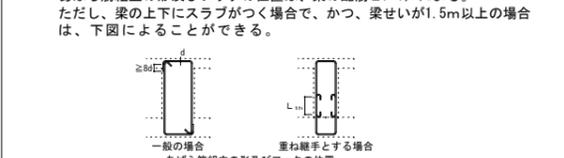
基礎の配筋



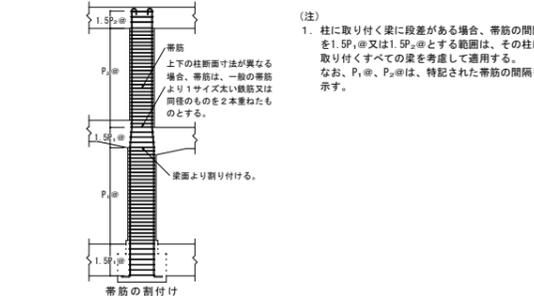
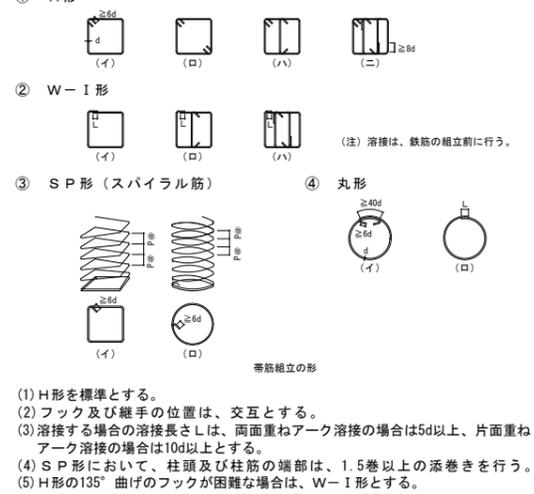
基礎梁の配筋



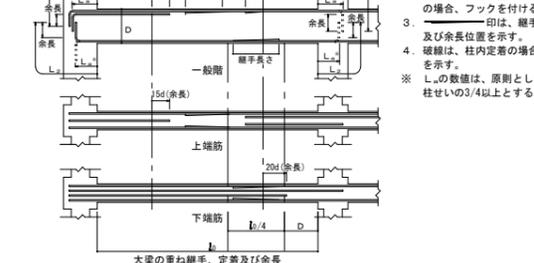
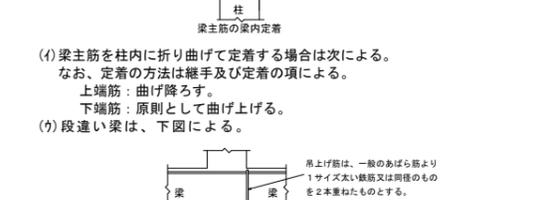
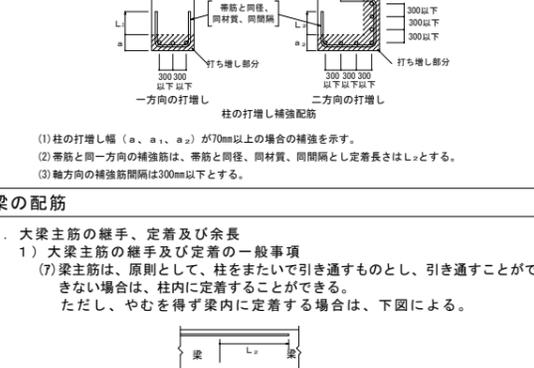
柱の配筋



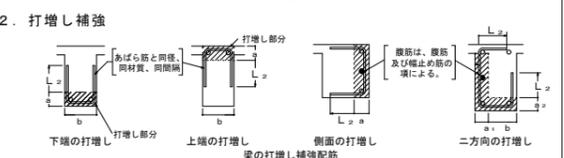
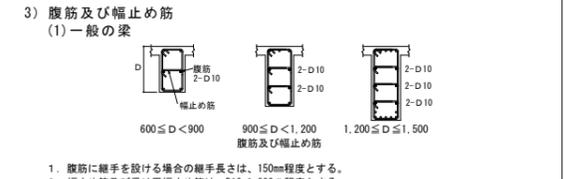
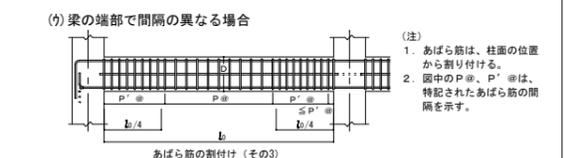
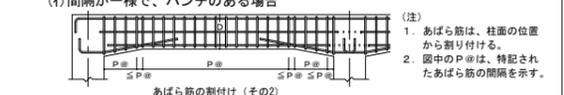
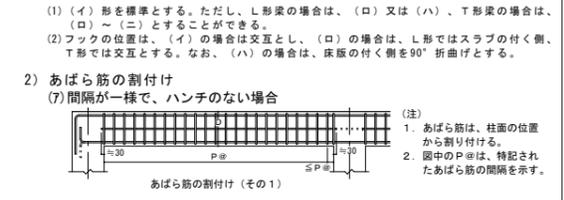
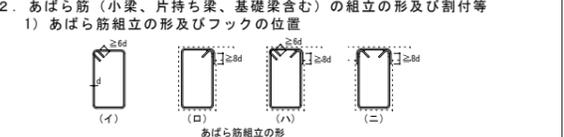
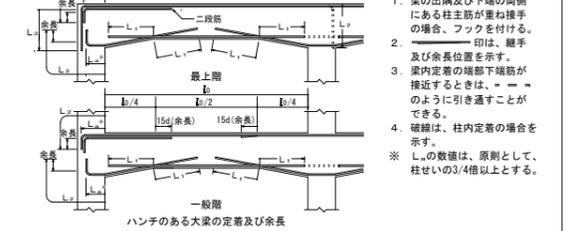
2. 帯筋組立の形及び割付け



梁の配筋



3) ハンチのある場合の定着及び余長



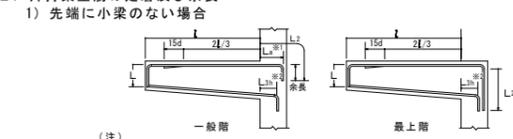
小梁及び片持梁



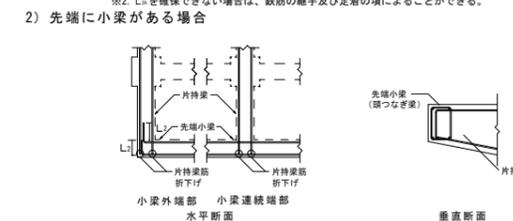
工事名称、図面名称、福山市の表。

鉄筋工事仕様書 No. 2

2. 片持梁主筋の定着及び余長



- (注)
1. 印は、余長位置を示す。
 2. 先端の折曲げ長さLは、梁せいかからかり厚さを除いた長さとする。
 3. 図示のない事項は、次梁の項による。
- ※1. L₁の取組は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。
※2. L₂を確保できない場合は、鉄筋の継手及び定着の項によることができる。



- (注)
1. 図示のない場合は、先端に小梁のない場合の項による。
 2. 先端小梁連続端部の主筋は、片持梁内に水平定着する。
 3. 先端小梁の連続端は、片持梁の先端を通する通し筋としてよい。

壁及びその他の配筋

1. 壁の基準配筋

1) 壁の基準配筋は下図による。

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)
W12	D10-200@シングル	120
W15A	D10-150@シングル	150
W15B	D10-100@シングル	150
W18A	D10-200@ダブル	180
W18B	D10-150@ダブル	180
W20A	D10-200@ダブル	200
W20B	D10-150@ダブル	200

(注) 壁筋の配筋順序は、規定しない。

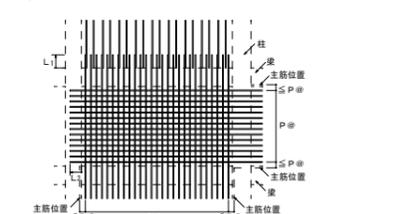
2) 片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋は下図による。

片持ちスラブ形階段を受ける壁の基準配筋

種別	縦筋及び横筋	断面図 (mm)	階段の配筋種別
KW1	縦筋 D13-200@ダブル	180	KA 1 KA 3
	横筋 D10-200@ダブル		
KW2	縦筋 D13-150@ダブル	200	KA 2 KA 4
	横筋 D10-200@ダブル		

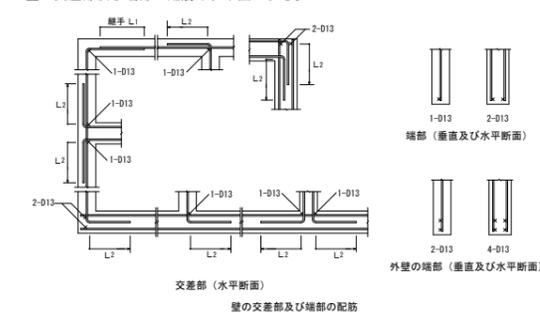
(注) 縦筋は、横筋の外側に配筋する。

2. 壁の継手及び定着



- (注)
1. 図中のP_等は、特記された壁筋の間隔を示す。
 2. 壁筋の重ね継手はL₁、定着長さはL₂とする。
 3. 幅止め筋は、縦横ともD10-1,000@程度とする。
 4. 原則として、柱及び梁内に、壁筋の継手を設けてはいけない。

3. 壁の交差部及び端部の配筋は、下図による。

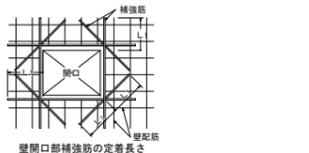


4. 壁開口部の補強

1) 耐震壁を除く壁開口部の補強筋は、A形又はB形とする。

壁開口部補強筋 (A形)			壁開口部補強筋 (B形)		
壁の種別	補強筋		壁の種別	補強筋	
W12, W15	縦筋	斜め	W12, W15	縦筋	斜め
W18, W20	1-D13	1-D13	W18, W20	2-D13	1-D13
	2-D13	2-D13		4-D13	2-D13

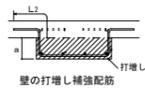
2) 壁開口部補強筋の定着長さは、下図による。



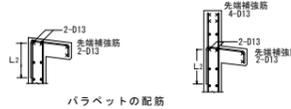
3) 開口部は柱及び梁に接する部分又は鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

5. 壁の打増し補強配筋

壁の打増し厚さ (a) が50mm以上の場合の補強を示す



6. パラベットの配筋



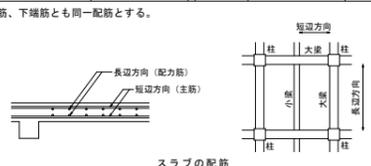
スラブの配筋

1. スラブの基準配筋

1) スラブの基準配筋

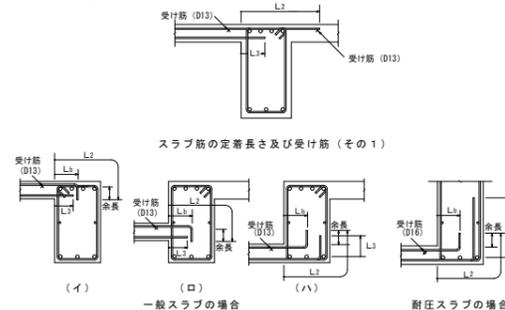
スラブの基準配筋					
配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域	配筋種別	短辺方向 (主筋) 全域	長辺方向 (配力筋) 全域
S 1	D13-100@	D13-100@	S 8	D10, D13-150@	D10-150@
S 2	同上	D13-150@	S 9	同上	D10-200@
S 3	同上	D10, D13-150@	S 10	D10, D13-200@	D10, D13-200@
S 4	D13-150@	D13-150@	S 11	同上	D10-200@
S 5	同上	D10, D13-150@	S 12	同上	D10-250@
S 6	同上	D10-150@	S 13	D10-200@	D10-200@
S 7	D10, D13-150@	D10, D13-150@	S 14	同上	D10-250@

(注) 上端筋、下端筋とも同一配筋とする。



1. 配筋の割付けは、中央から行い、端部は定められた間隔以下とする。
2. 鉄筋の重ね継手長さは、L₁とする。

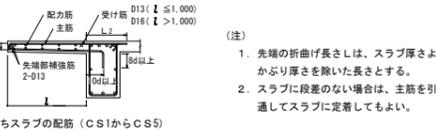
2. スラブ筋の定着及び受け筋



3. 片持ちスラブの基準配筋

1) 片持ちスラブの基準配筋

片持ちスラブの基準配筋						
配筋種別	主筋			配筋種別	主筋	
CS 1	上	D13-100@	下	CS 5	上	D10-200@
	下	D13-200@	下		D10-400@	
CS 2	上	D13-150@	下	CS 6	上	D10, D13-200@
	下	D13-300@	下		D10-200@	
CS 3	上	D10, D13-150@	下	CS 7	上	D10-200@
	下	D10, D13-300@	下		D10-200@	
CS 4	上	D10, D13-200@	下			
	下	D10-200@				

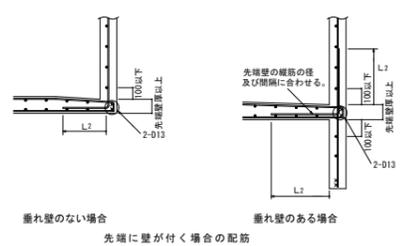


片持ちスラブの配筋 (CS1からCS5)



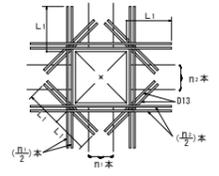
片持ちスラブの配筋 (CS6及びCS7)

4. 先端に壁が付く場合の配筋は、下図による。



5. スラブ開口部の補強 (スラブ開口部の最大径が700mm以下の場合に限る。)

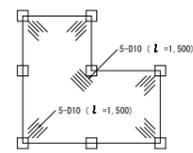
1) スラブ開口部によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部に斜め方向に2-D13 (L₁=2L₂) シングルを上下筋の内側に配筋する。
2) スラブ開口部の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。



スラブ開口部の補強配筋

6. 出隅部及び入隅部の補強

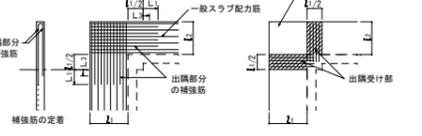
1) 屋根スラブの出隅部及び入隅部



補強筋を上端筋の下側に配置する。

出隅及び入隅部の補強配筋

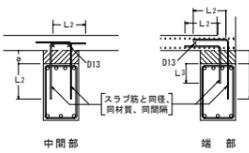
2) 片持ちスラブの出隅部



(注) 1. L₁ ≥ L₂とする。 (注) 1. L₁ ≥ L₂とする。
2. 出隅受け部配筋は柱又は梁にL₁定着する。

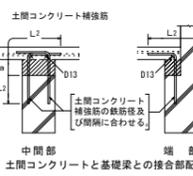
7. スラブの打継ぎ補強等

1) 土間スラブの打継ぎ補強



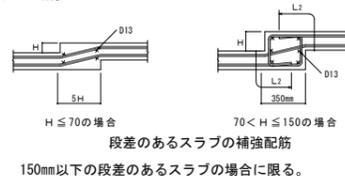
打継ぎ補強配筋 (注) 基礎梁と土間スラブを一体打ちとしない、打継ぎを設ける場合の補強を示す。

2) 土間コンクリートと基礎梁との接合部配筋



(注) 1. 土間コンクリートとは、土に接するスラブのうち、床荷重を直接支持地盤へ伝達できるものをいい、それ以外は土間スラブとして、梁及び柱を介して基礎へ荷重を伝達するものとする。
2. aが300mm以下の場合に限る。

8. 段差のあるスラブの補強



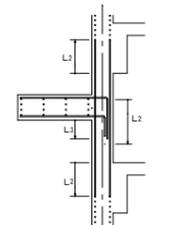
150mm以下の段差のあるスラブの場合に限る。

階段の配筋

1. 片持ちスラブ形階段 片持ちスラブ形階段の基準配筋は、下表及び下図により、寸法及び配筋種別は、特記による。

片持ちスラブ形階段の基準配筋

配筋種別	KA 1	KA 2
配筋図		
配筋種別	KA 3	KA 4
配筋図		

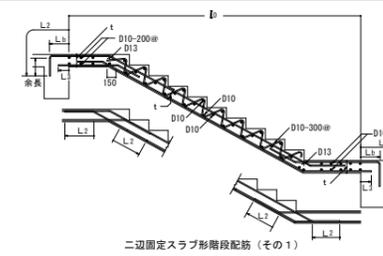


片持ちスラブ形階段配筋の定着

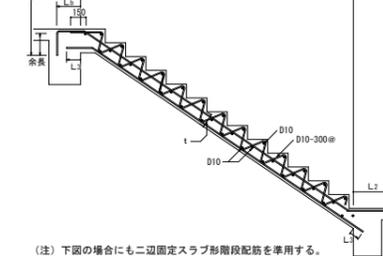
2. 二辺固定スラブ形階段

二辺固定スラブ形階段の基準配筋

配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)	配筋種別	上端筋、下端筋とも (全域)
KB 1	D13-200@	KB 5	D16-150@
KB 2	D13-150@	KB 6	D16-125@
KB 3	D13-100@	KB 7	D16-100@
KB 4	D13, D16-150@		



二辺固定スラブ形階段配筋 (その1)

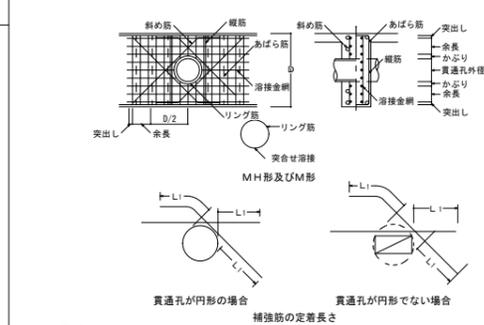
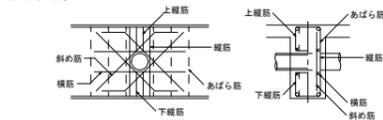


二辺固定スラブ形階段配筋 (その2)

梁貫通孔及びその他の配筋

1. 梁貫通孔の配筋

- 1) 梁貫通孔補強筋の名称等は、下図による。
- 2) 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこの外接円とする。
- 3) 孔の上下方向の位置は、梁せいの中心付近とし、梁中央部下端は梁下端よりD/3 (Dは梁せい) の範囲に設けてはならない。
- 4) 孔は、柱面から、原則として、1.5D (Dは梁せい) 以上離す。ただし、基礎梁及び壁付帯梁は除く。
- 5) 孔が並列する場合の中心間隔は、孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 6) 縦筋及び上下筋筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 7) 補強筋は、主筋の内側とする。また、鉄筋の定着長さは、下図による。
- 8) 孔の径が梁せいの1/10以下、かつ、150mm未満のものは、鉄筋を緩やかに曲げることで、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。
- 9) 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
- 10) 溶接金網の貫通孔部分には、鉄筋13φのリング筋を取り付ける。なお、リング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
- 11) 溶接金網の割付け始点は、横筋であばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。



2. 梁貫通孔の補強形式

H形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	横筋	上下筋	配筋図
H 1	なし	なし	なし		
H 2	2-2-D13				
H 3	4-2-D13				
H 4	4-2-D16				
H 5	4-2-D16				
H 6	4-2-D19	4-2-D13	2-2-D13	3-2-D13	
H 7	4-2-D22				

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

M形配筋

配筋種別	縦筋	溶接金網	配筋図
M 1	2-2-D13		
M 2	4-2-D13		
M 3	4-2-D13		
M 4	6-2-D13		

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。

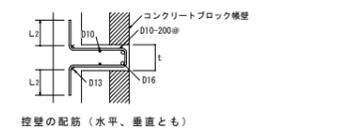
MH形配筋

配筋種別	斜め筋	縦筋	溶接金網	配筋図
MH 1	なし	なし		
MH 2	2-2-D13			
MH 3	2-2-D13			
MH 4	4-2-D13			
MH 5	4-2-D16			
MH 6	4-2-D16			
MH 7	4-2-D19			

(注) - - - は、一般部分のあばら筋を示す。
1. 大抵認定による既製品を使用する場合は、適用条件はすべて認定内容による。

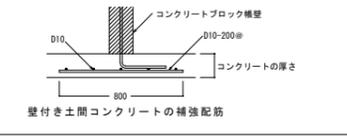
3. コンクリートブロック杭壁との取合い

1) 杭壁の配筋



杭壁の配筋 (水平、垂直とも)

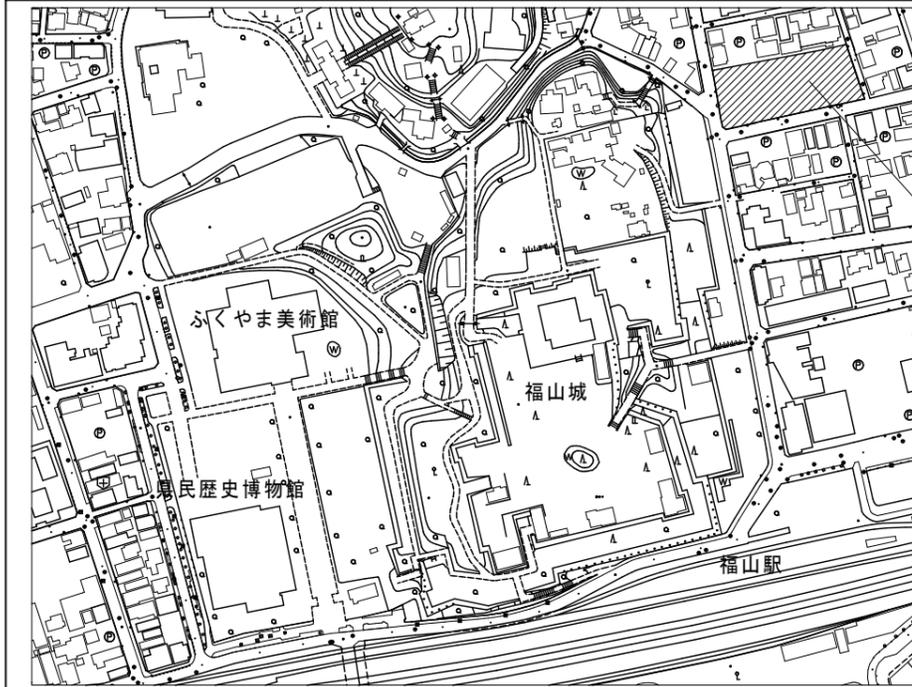
2) 杭壁が土間コンクリート上に設置される場合の補強



壁付土間コンクリートの補強配筋

工事名称	丸之内公園便所新築工事
------	-------------

図面名称	鉄筋工事仕様書 No. 2
------	---------------



工事場所：福山市丸之内二丁目地内

仮設工事特記仕様書

- ① 工事車両の出入は公園敷地東側の設置済みキャストゲートとし、別途工事業者（公園整備工事）と、共同で使用する。
- ② 重機、資材の搬入時間及び公園内の動線は監督員及び別途工事業者と十分に協議する。
- ③ 配置図に記載した仮設等は参考であり、実際の施工に於いては、事前に詳細な調査・検討を行い、より安全な施工に努める。
- ④ 仮設計画をたてる前に、監督員及び別途工事業者と十分に協議する。
- ⑤ 仮設計画は、監督員の承諾後に設置する。

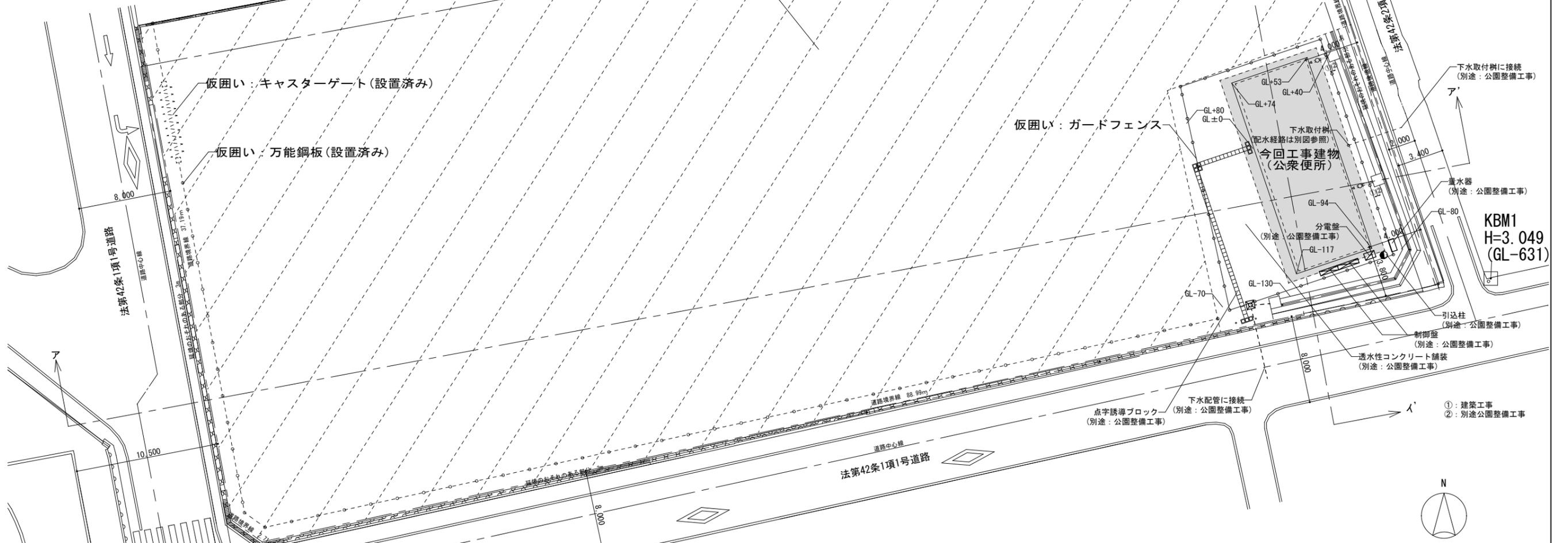
凡 例

	工事車両進入路
	ガードフェンス H=1.8m
	仮囲い(万能鋼板)：別途工事
	キャストゲート：別途工事

※仮設計画は参考とする

附近見取図 S=No Scale

公園整備
(別途：公園整備工事)



配置図 S=1/300

T4 (GL+131)
H=3.811

- ①：建築工事
- ②：別途公園整備工事

敷地求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
1	93.36	34.12	3185.4432	1592.72160
2	93.36	2.54	237.1344	118.56720
3	92.44	35.16	3250.1904	1625.09520
合計				3336.38400
敷地面積				3336.38 m ²

建築面積求積表

番号	計算		面積
1	5.50	14.60	80.30
合計			80.30
建築面積			80.30 m ²

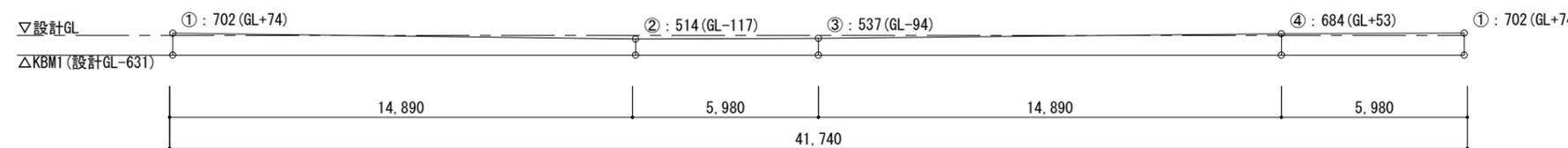
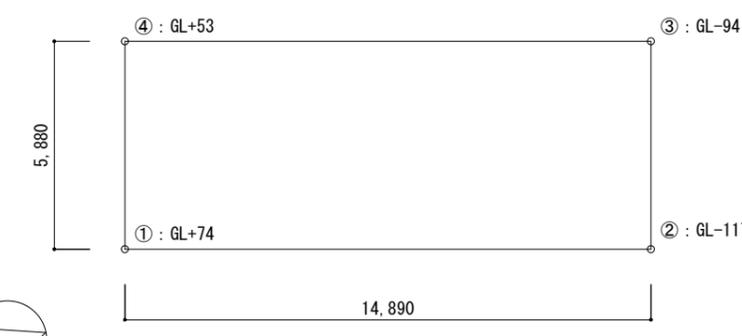
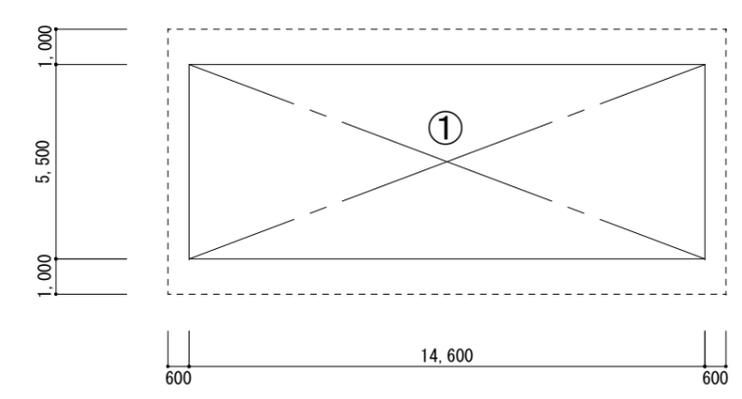
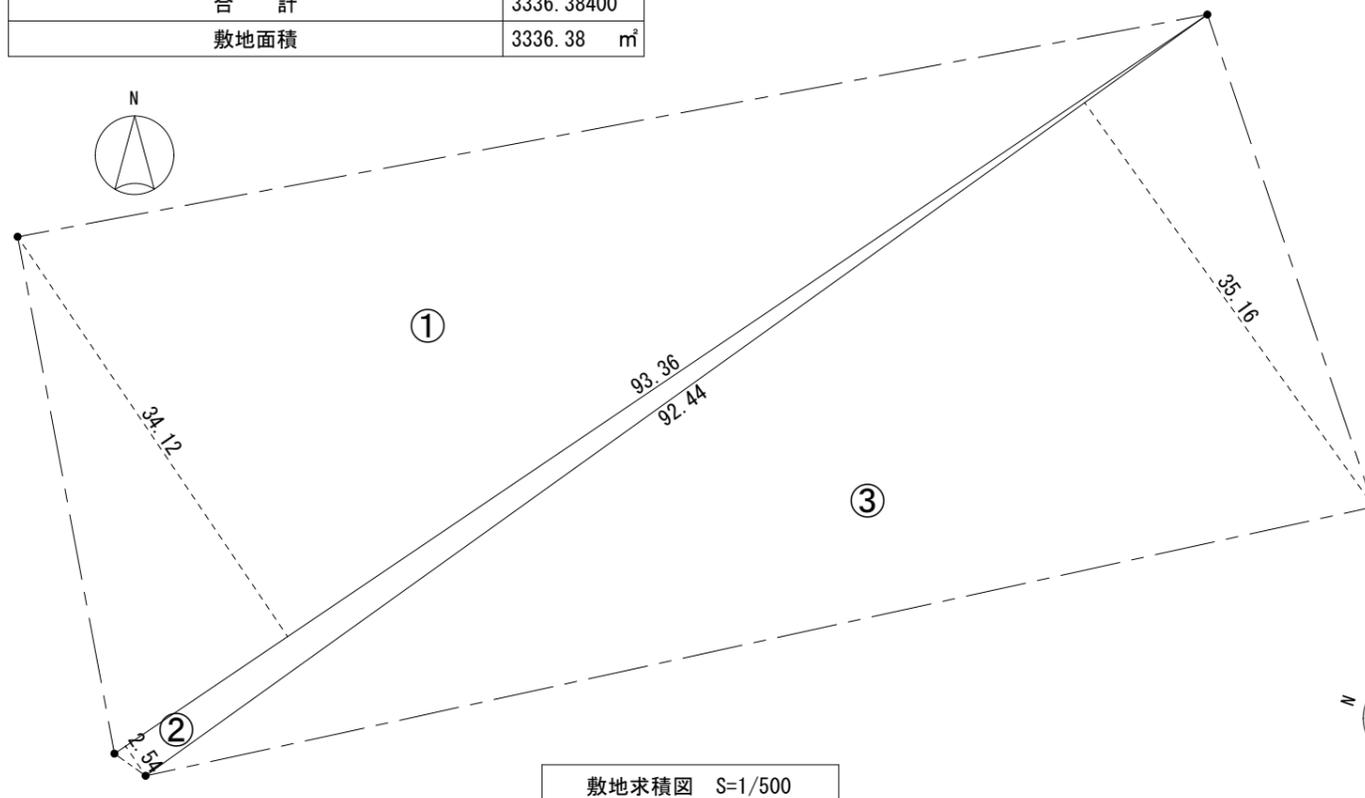
床面積求積表

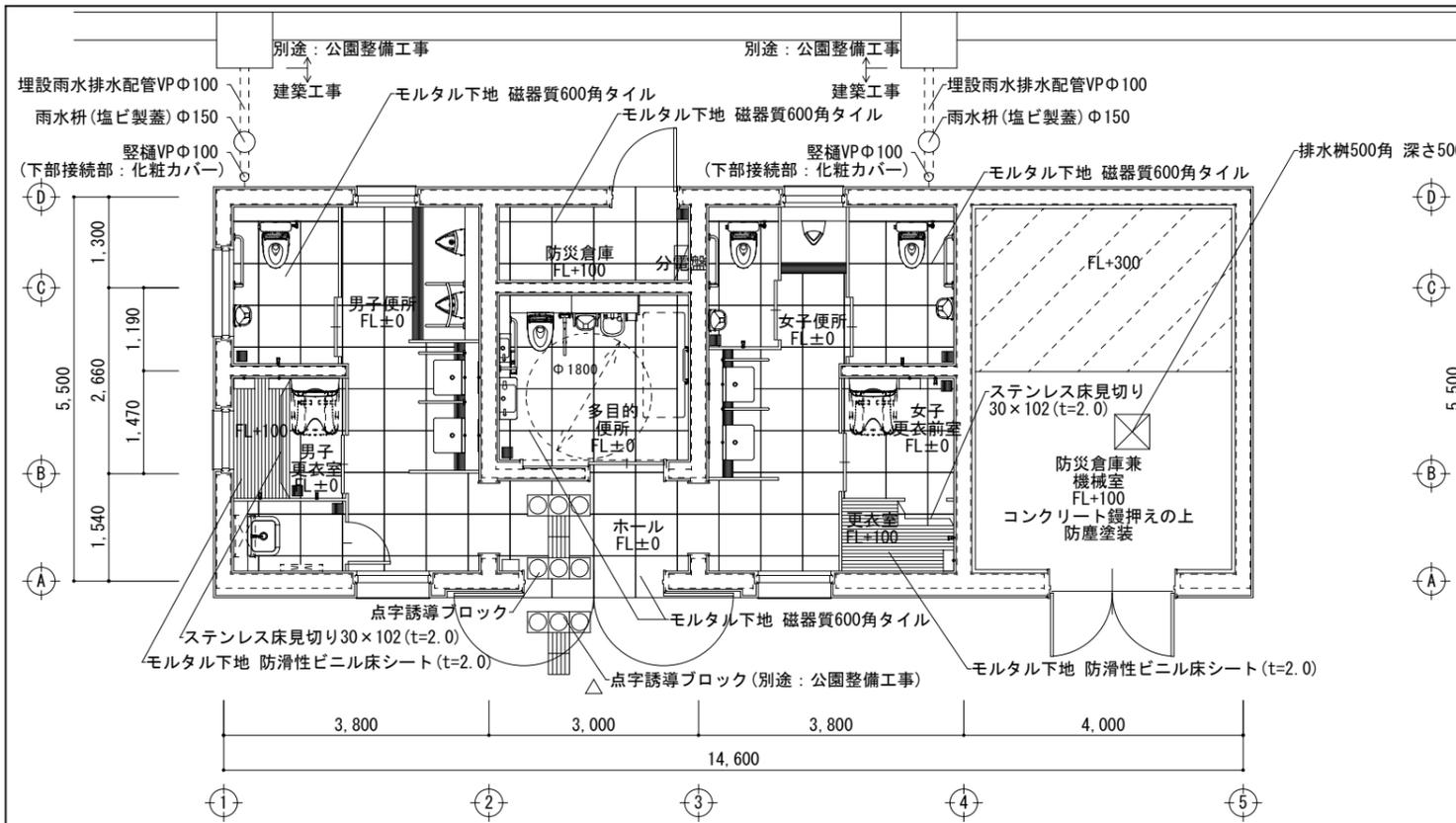
番号	計算		面積
1	5.50	14.60	80.30
合計			80.30
床面積			80.30 m ²

平均地面盤算定表

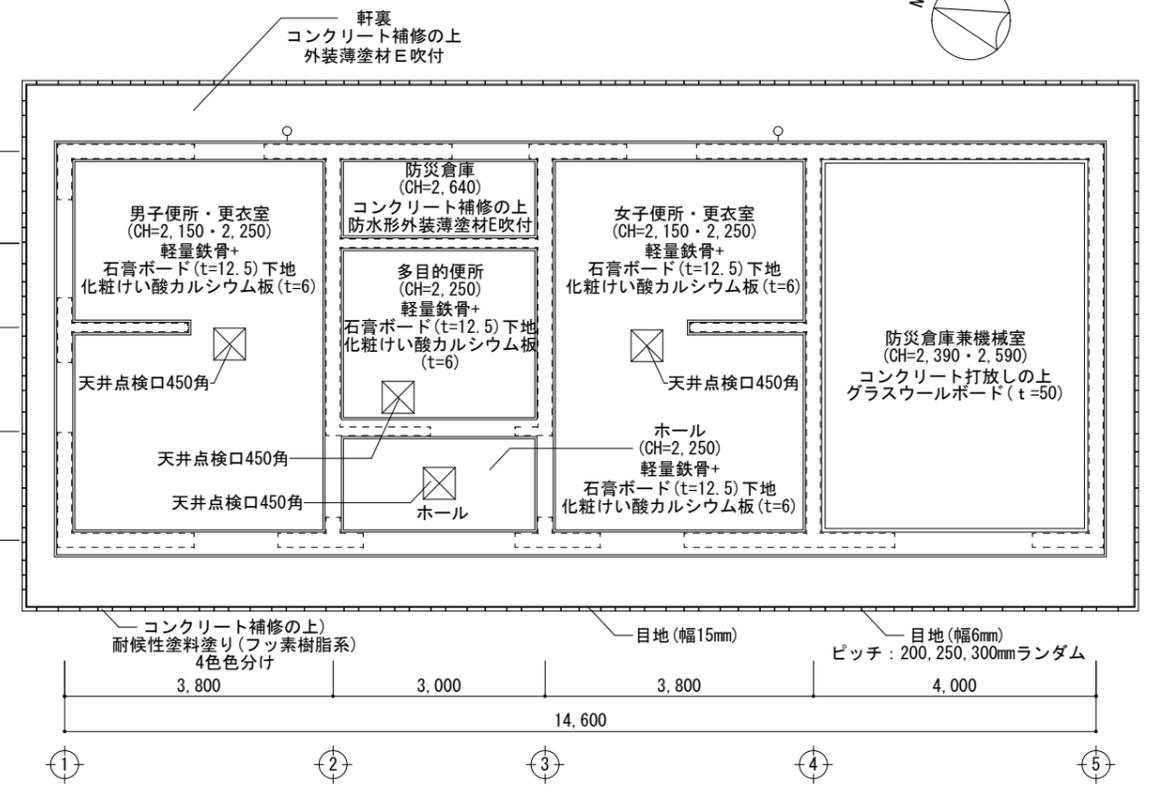
番号	高さ1	高さ2	距離	見付面積
1-2	702	514	14,890	18,106,240
2-3	514	537	5,980	6,284,980
3-4	537	684	14,890	18,180,690
4-1	684	702	5,980	8,288,280
合計			41,740	50,860,190

平均地面盤面：50,860,190 ÷ 41,740 ÷ 2 = 609.25 = 設計GL-21

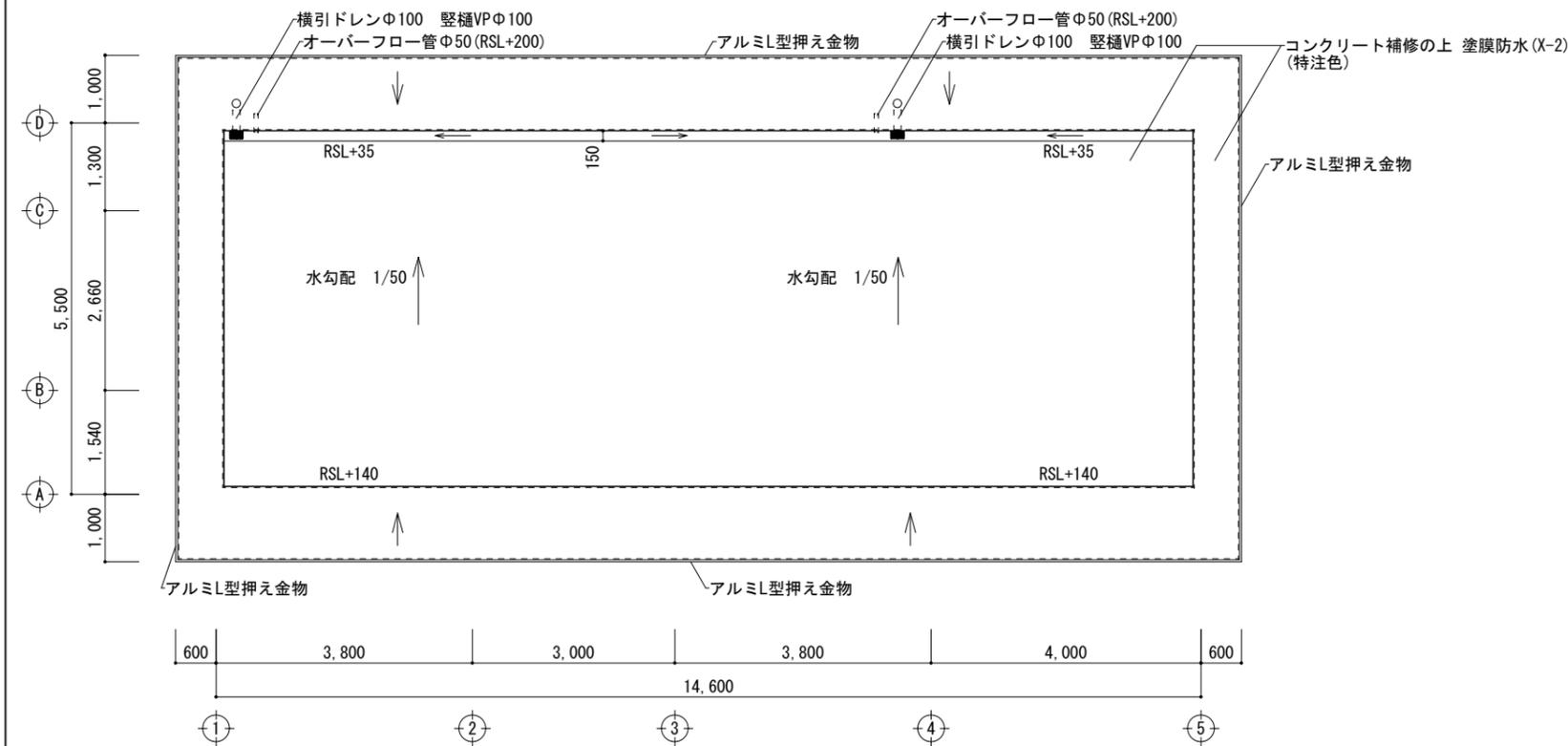




1階平面図 S=1/100



天井伏図 S=1/100

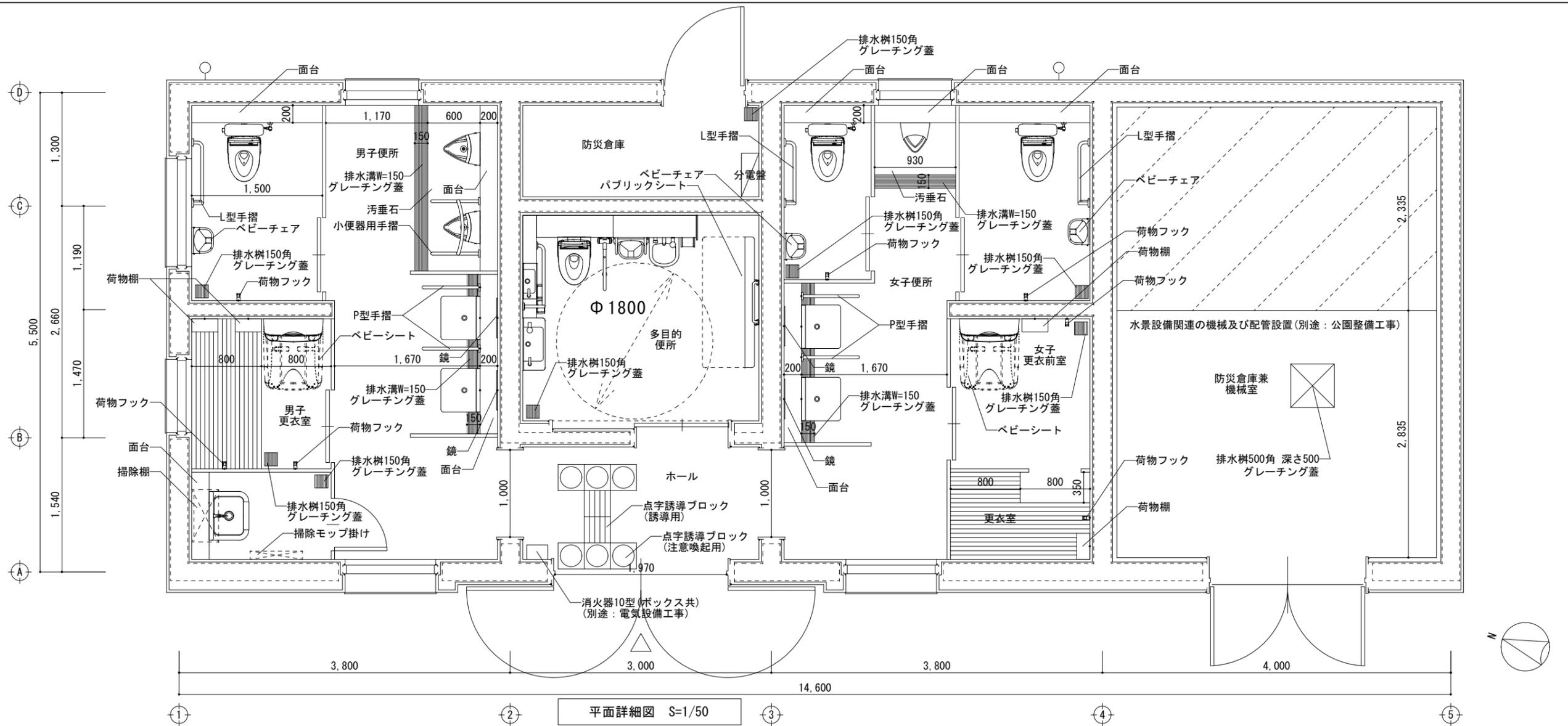


R階平面図 S=1/100

床面積表

番号	計 算		面 積
ホール	3.00	1.54	4.62
多目的便所	3.00	2.66	7.98
男子便所・更衣室	3.80	5.50	20.90
女子便所・更衣室	3.80	5.50	20.90
防災倉庫	3.00	1.30	3.90
防災倉庫兼機械室	4.00	5.50	22.00
合 計			80.30
床面積			80.30 m ²

※軒裏及び庇見付面の目地ピッチ及び色分けは監督員と協議する。
機械室内は本工程と重複し水景設備関連の機械及び配管設置が別途工事で、公園緑地課発注の公園整備工事としてあります。

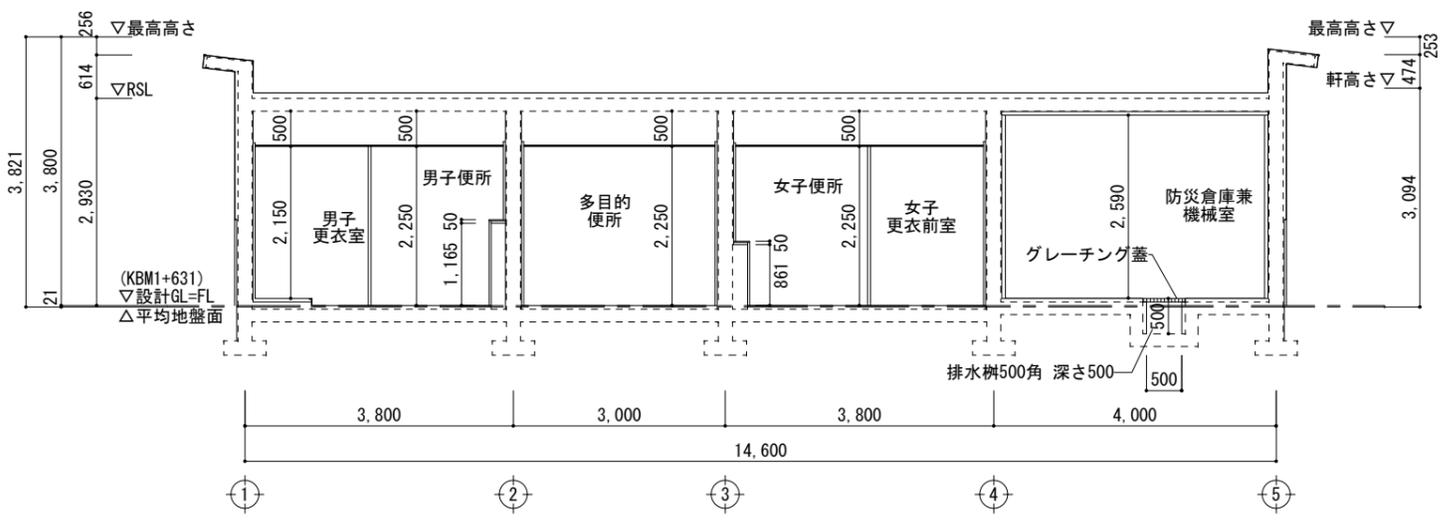


平面詳細図 S=1/50

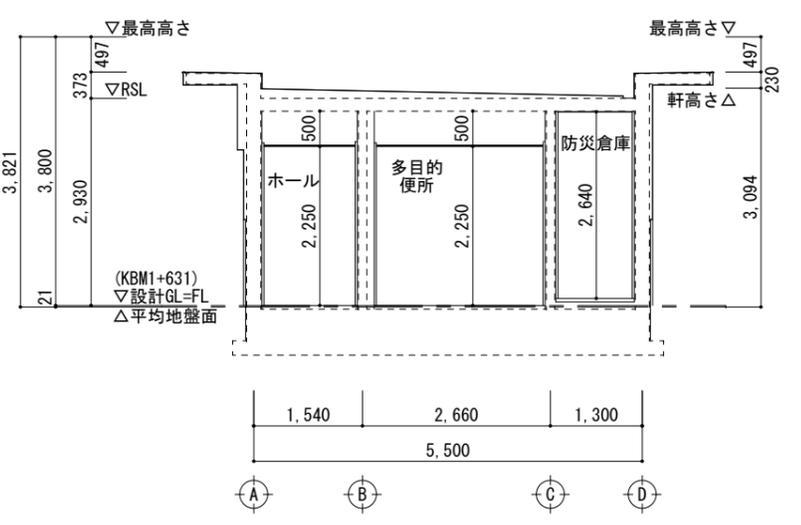
内部仕上表						
室名	床	腰壁	壁	天井	備考	備考(別途工事)
ホール	モルタル下地 磁器質600角タイル(EVS-103 同等品)	コンクリート補修の上 非焼成軽量セラミックス (LGR-R/DLC-3K 同等品)	コンクリート補修の上 外装薄塗材Eにて塗り (JP-100ブロックダム 同等品)	軽量鉄骨+耐水石膏ボード(t=12.5)(NM-9639 同等品)下地 化粧いり酸カルシウム板(t=6)(ASLUX200R 同等品)廻縁含む 天井点検口450角鍵付き落下防止ワイヤー付き(HHGS-K454 同等品)	点字誘導ブロック(ステンレス製点字板 ノンスリップタイプ 黄色)	消火器10型(ボックス共)
多目的便所	同上	コンクリート補修の上 多孔質セラミックス303角タイル (EPC-303/NTC3N・EPC-303/NTC3FN 同等品)	コンクリート補修の上 多孔質セラミックス25×151ボーダータイル (ECP-2515NET/GLN1 同等品)	同上	パブリックシート(EWC520ARN 同等品) グレーチング蓋	バリアフリートイレバック
女子便所	モルタル下地 磁器質600角タイル(EVS-103 同等品) 小便器下部廻り:汚垂石張り (AB611BR#HBA 同等品)	同上	同上	同上	L型手摺(T112CL10 同等品)・P型手摺(T112CP31 同等品) ベビーチェア(YKA15S 同等品)・荷物フック(YKH22 同等品) 面台(天端:御影石t=20)・盗難防止形耐食鏡(YM4560FE 同等品) グレーチング蓋	洋式大便器 幼児用小便器 手洗い
男子便所	同上	同上	同上	同上	L型手摺(T112CL10 同等品)・P型手摺(T112CP31 同等品) 小便器用手摺(T112CU22 同等品)・ベビーチェア(YKA15S 同等品) 荷物フック(YKH22 同等品)・盗難防止形耐食鏡(YM4560FE 同等品) 掃除棚(UTR421S 同等品)・掃除モップ掛け(UTR422S 同等品) 面台(天端:御影石t=20)・グレーチング蓋	洋式大便器 小便器 掃除用流し 手洗い
女子更衣室	モルタル下地 磁器質600角タイル(EVS-103 同等品) 一部:防滑性ビニル床シート(t=2.0) (NS4815 同等品) 見切:ステンレス30×102(t=2.0)	同上	同上	同上	ベビーシート(YKA24N 同等品) 荷物フック(YKH22 同等品) 荷物棚(YKH51A 同等品) グレーチング蓋	-
男子更衣室	同上	同上	同上	同上	同上	-
防災倉庫	モルタル下地 磁器質600角タイル(EVS-103 同等品)	コンクリート補修の上 複層塗材E吹付	コンクリート補修の上 複層塗材E吹付	コンクリート補修の上 防水形外装薄塗材E吹付	グレーチング蓋	-
防災倉庫兼 機械室	コンクリート鍍押えの上 防滑性防塵塗装 (薄膜型ウレタン樹脂系 同等品)	コンクリート打放しの上 グラスウールボード(t=50) (GC4CS 同等品)	コンクリート打放しの上 グラスウールボード(t=50) (GC4CS 同等品)	コンクリート打放しの上 グラスウールボード(t=50) (GC4CS 同等品)	グレーチング蓋	-

外部仕上表	
屋根・庇	コンクリート補修の上 塗膜防水(X-2工法)特注色 見付:耐候性塗料塗り(フッ素樹脂系)4色色分け (ファインフッソ 同等品) 庇端部:アルミL型押え金物5×30
軒裏	コンクリート補修の上 外装薄塗材E吹付
外壁	コンクリート補修の上 腰壁:非焼成軽量セラミックス (LGR-R/DLC-3K 同等品) 壁:外装薄塗材Eにて塗り (JP-100ブロックダム 同等品)
備考	鑄鉄製横引きドレンΦ100 (EXG-100 同等品) 縦樋VPΦ100(下部接続部:化粧カバー) ステンレス製オーバーフロー管Φ50 (OS-1-50 同等品) 雨水枡(塩ビ製蓋)Φ150 埋設雨水排水配管

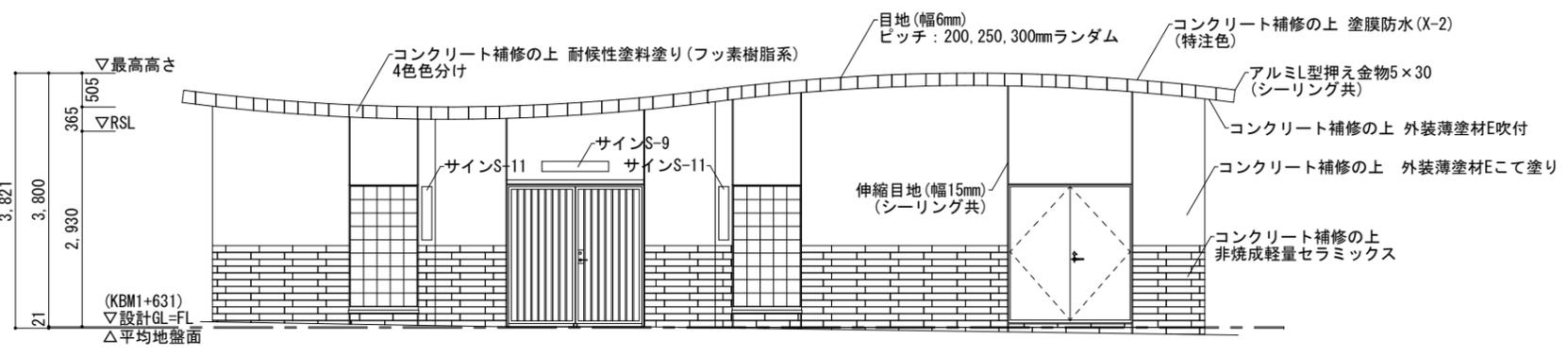
内装仕上げ材及び接着剤はF☆☆☆☆相当以上とする。
床仕上げ材は防滑性とする。
機械室内は本工事と重複し水景設備関連の機械及び配管設置が
別途工事で、公園緑地課発注の公園整備工事としてあります。



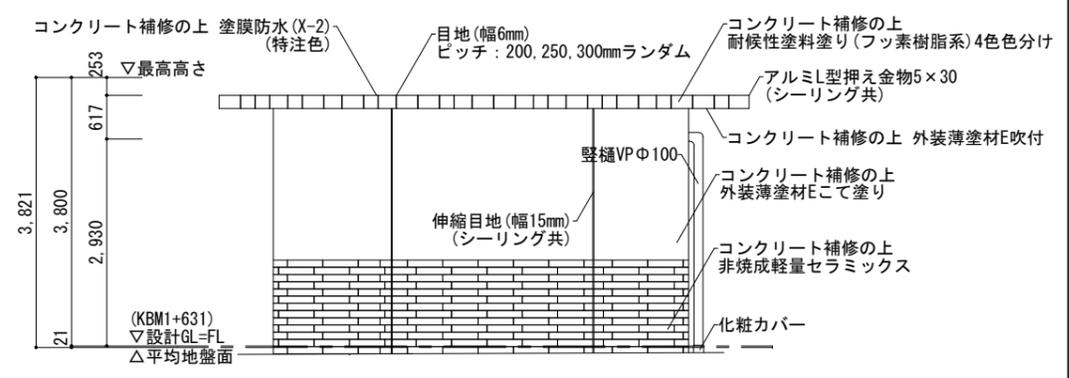
断面図1 S=1/100



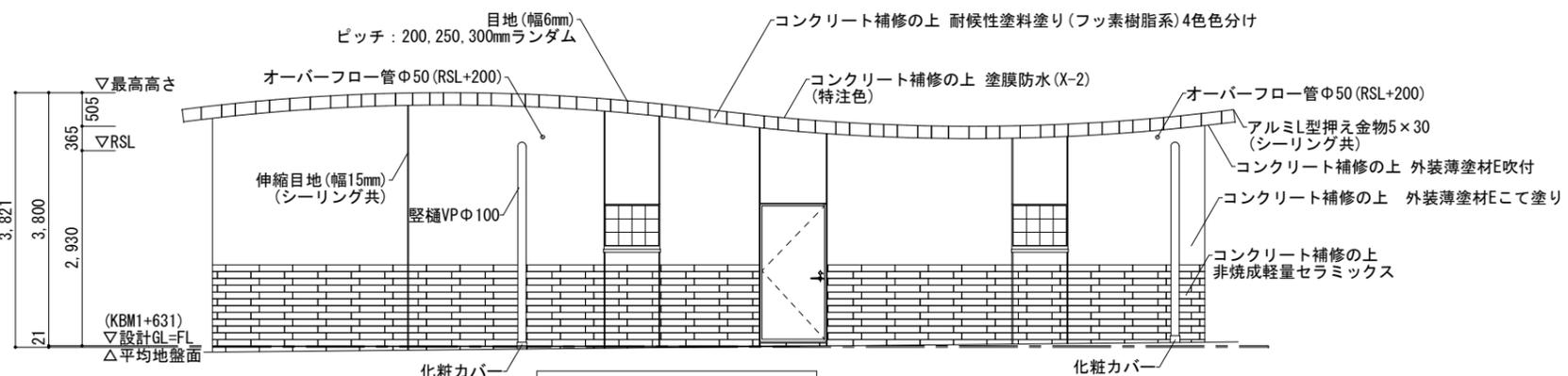
断面図2 S=1/100



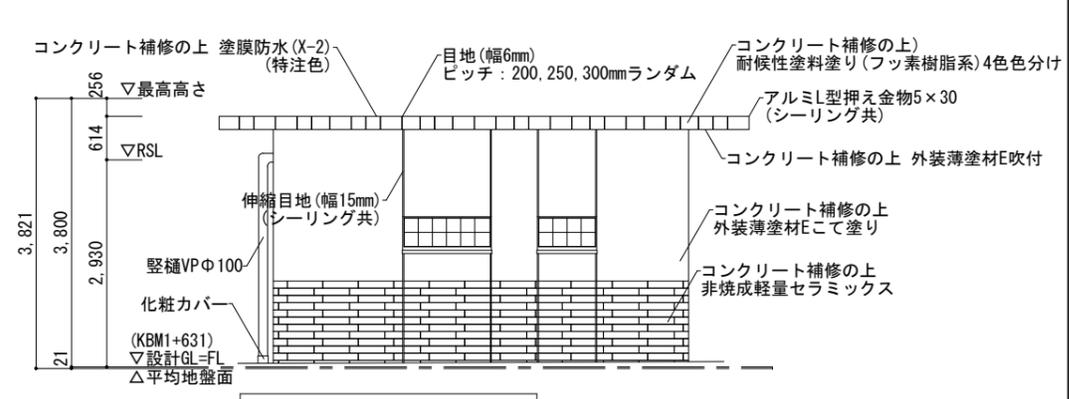
西立面図 S=1/100



南立面図 S=1/100

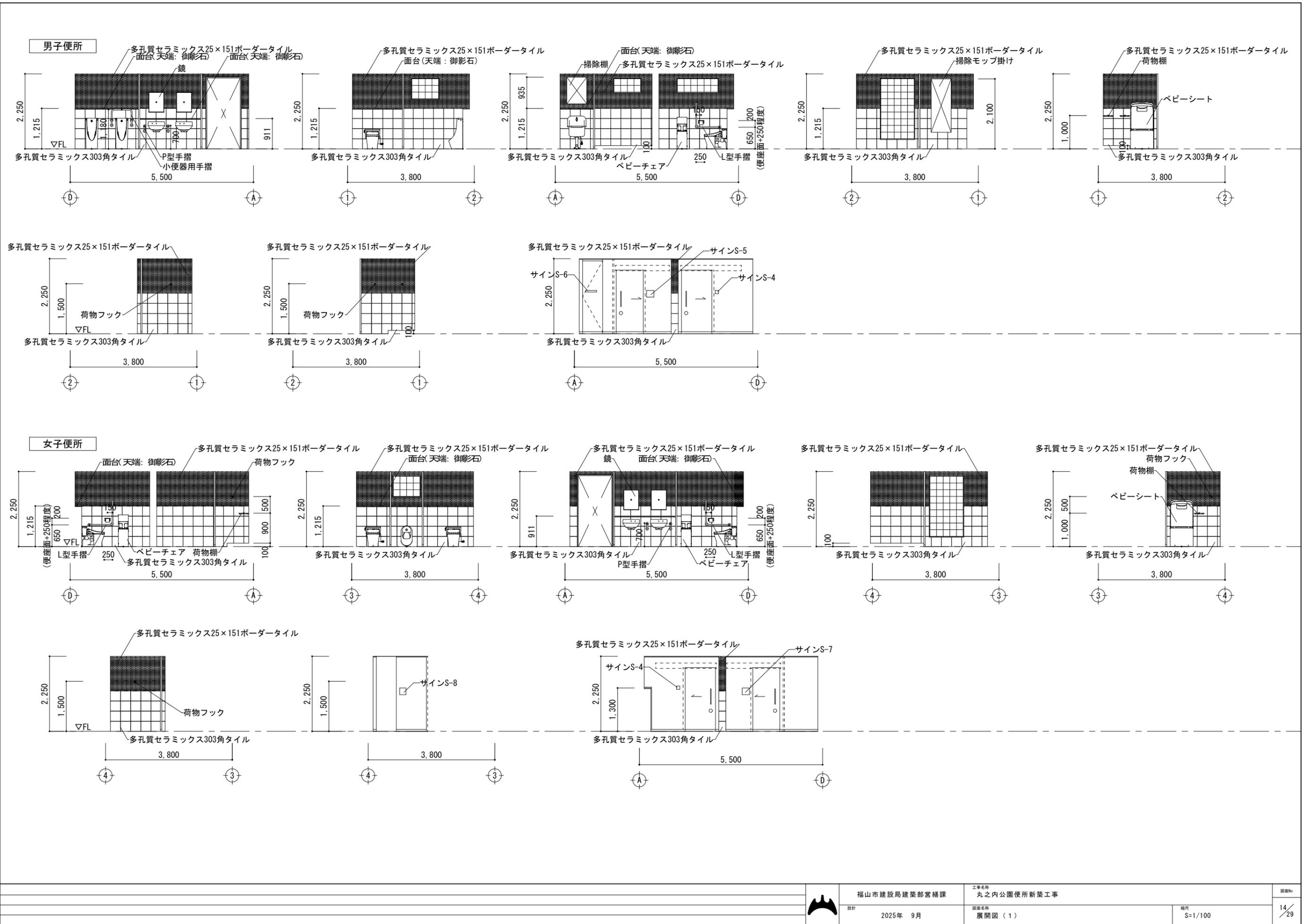


東立面図 S=1/100

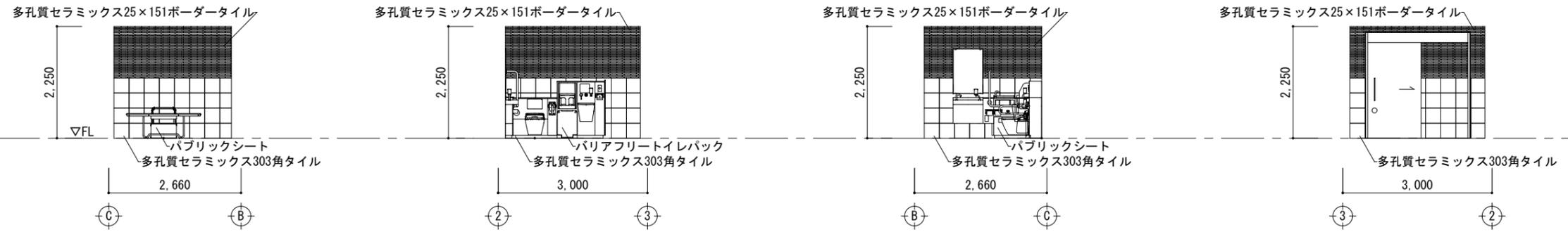


北立面図 S=1/100

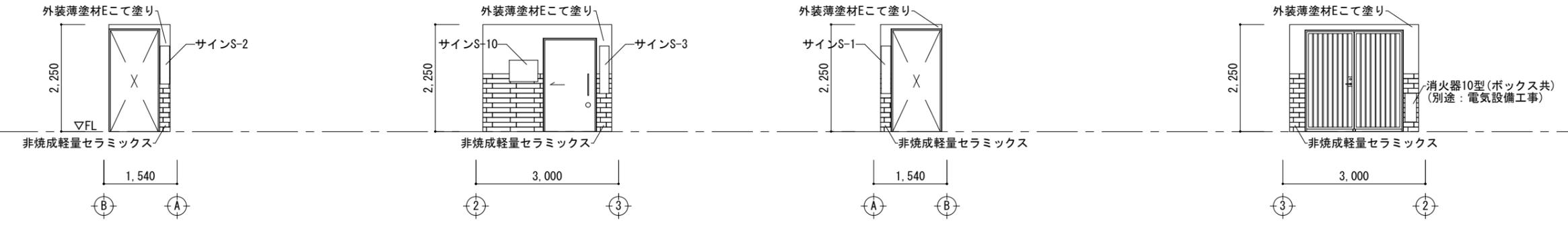
※軒裏及び庇見付面の目地ピッチ及び色分けは監督員と協議する。



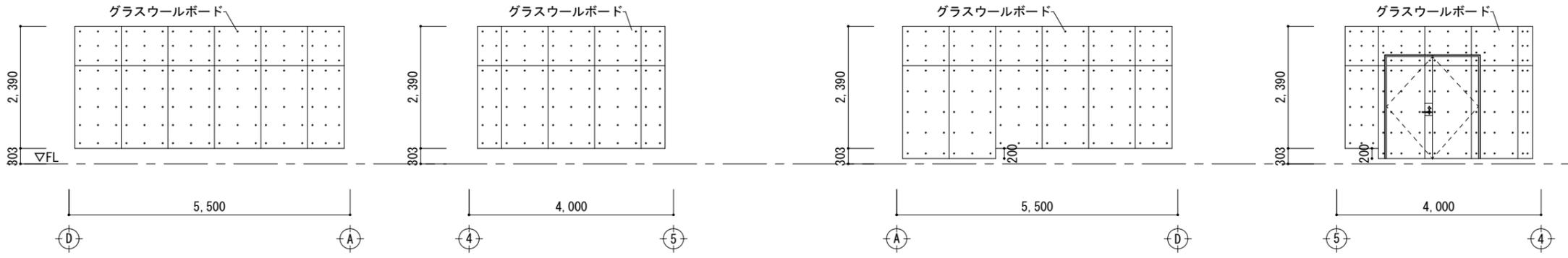
多目的便所



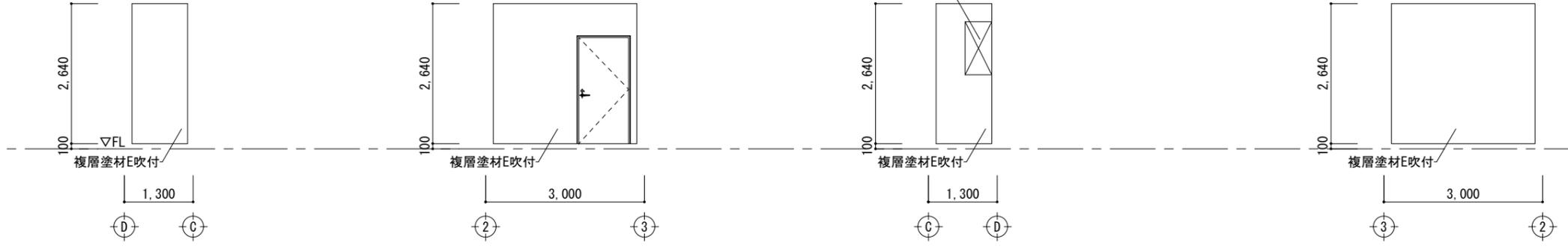
ホール



防災倉庫兼機械室



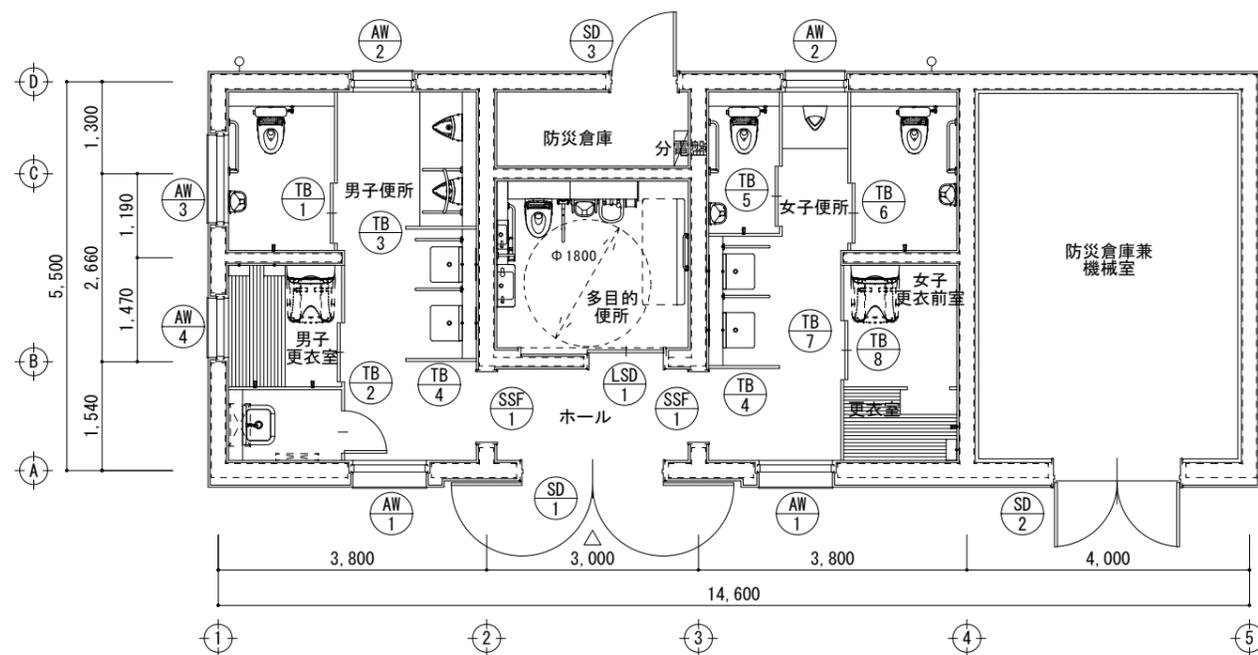
防災倉庫



符号	数量	AW1	アルミ製ガラスブロック窓	2	AW2	アルミ製ガラスブロック窓	2	AW3	アルミ製ガラスブロック窓	1	AW4	アルミ製ガラスブロック窓	1
形状													
仕上・見込	アルミ 見込 100		アルミ 見込 100		アルミ 見込 100		アルミ 見込 100						
ガラス	ガラスブロック (190×190×95)		ガラスブロック (190×190×95)		ガラスブロック (190×190×95)		ガラスブロック (190×190×95)						
金物	標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式		標準金物一式						
備考	下部水切り		下部水切り		下部水切り		下部水切り						

符号	数量	SD1	鋼製両開き戸	1	SD2	鋼製両開き戸	1	SD3	鋼製片開き戸	1	LSD1	軽量鋼製上吊り片引き戸	1
形状													
仕上・見込	溶融亜鉛メッキ t=1.6 焼付塗装 見込 扉40 枠310		溶融亜鉛メッキ t=1.6 焼付塗装 見込 扉40 枠420		溶融亜鉛メッキ t=1.6 焼付塗装 見込 扉40 枠310		溶融亜鉛メッキ t=0.6 焼付塗装 見込 扉40 枠320						
ガラス	-		-		-		-						
金物	丁番・レバーハンドル・フランス落とし・ 坪受・戸当り・ ケースロック・標準金物一式		丁番・レバーハンドル・ドアクローザー・ 戸当り・ケースロック・標準金物一式		丁番・レバーハンドル・ドアクローザー・ 戸当り・ケースロック・標準金物一式		大型引手(ステンレス ヘアライン仕上げ)・ 大型サムターン錠(表示付)・自閉装置・ 戸当り・標準金物一式(上吊り金物含む)						
備考	査摺なし		査摺: ステンレス SUS304 t=2.0以上		査摺: ステンレス SUS304 t=2.0以上		査摺なし						

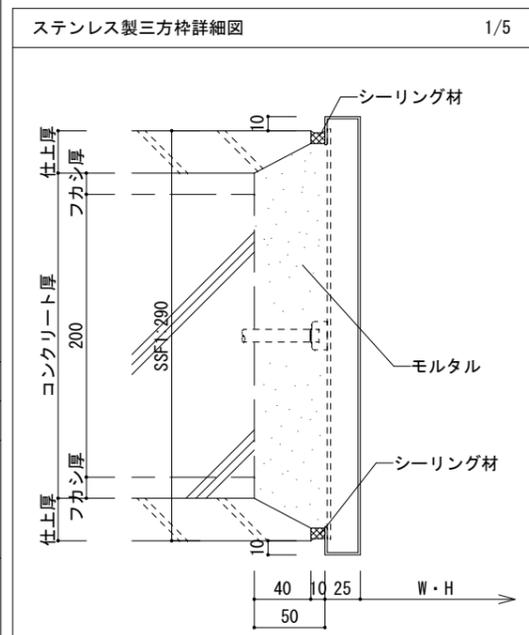
符号	数量	SSF1	ステンレス製三方枠	2
形状				
仕上・見込	ステンレス t=1.5 カラーヘアライン仕上げ 見込 310			
ガラス	-			
金物	-			
備考	査摺なし			



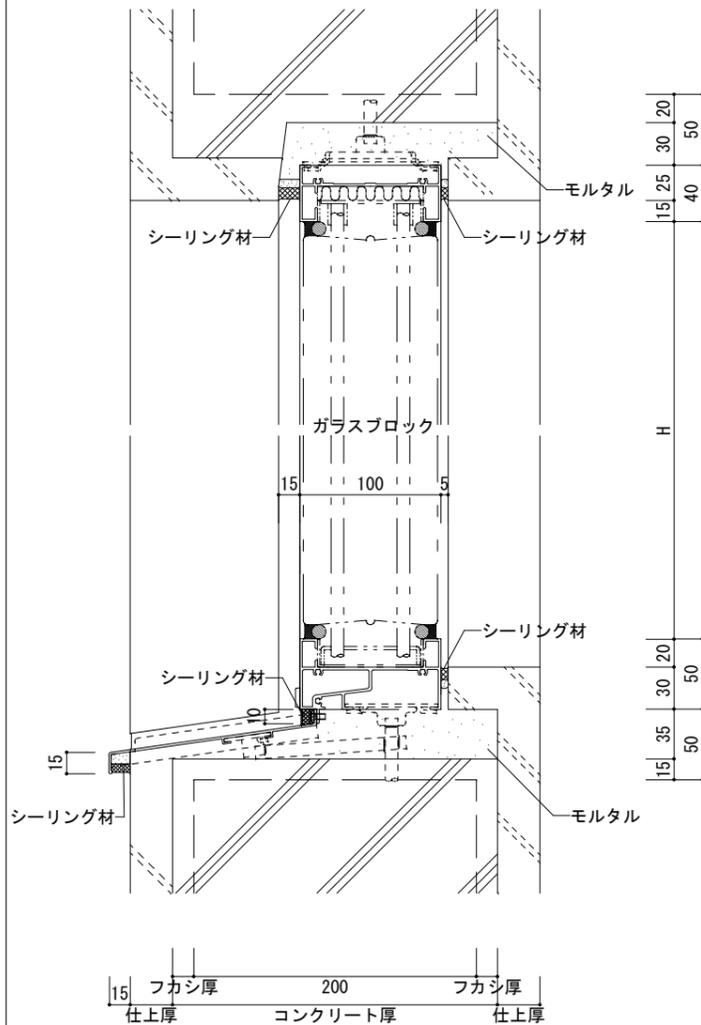
1階建具配置図 S=1/100

符号	数量	① TB 1 トイレブース	1	② TB 2 トイレブース	1	③ TB 3 トイレブース	1	④ TB 4 トイレブース	2	⑤ TB 5 トイレブース	1
形状											
仕上・見込		メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40
ガラス		—		—		—		—		—	
金物		アルミエッジタイプ・ドアハンドル・ 引き戸錠(ロッド錠)・自閉装置・ 戸当り・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ドアハンドル・引き戸錠(ロッド錠)・ グラビティヒンジ・面付本締錠・自閉装置・ 戸当り帽子掛け・戸当り・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ドアハンドル・ 引き戸錠(ロッド錠)・自閉装置・ 戸当り・ステンレス製巾木・標準金物一式	
備考		芯材：ペーパーコア サイン：カッティングシート		芯材：ペーパーコア 下地補強：荷物フック取付部 サイン：カッティングシート		芯材：ペーパーコア		芯材：ペーパーコア		芯材：ペーパーコア 下地補強：荷物フック取付部 サイン：カッティングシート	

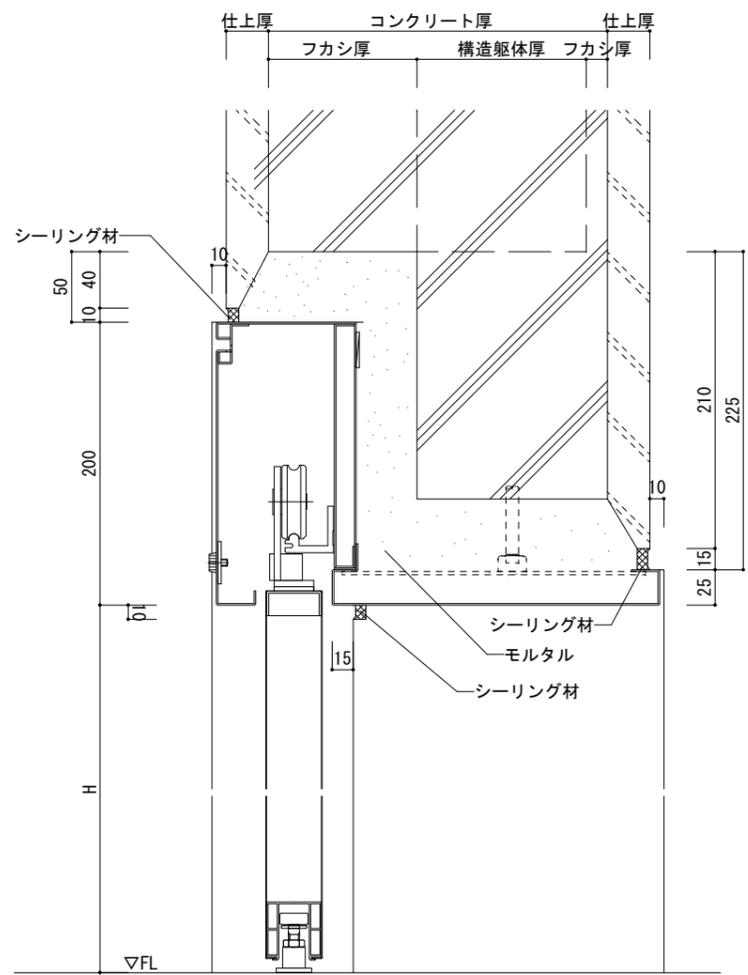
符号	数量	⑥ TB 6 トイレブース	1	⑦ TB 7 トイレブース	1	⑧ TB 8 トイレブース	1
形状							
仕上・見込		メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40	メラミン樹脂化粧板	見込 40
ガラス		—		—		—	
金物		アルミエッジタイプ・ドアハンドル・ 引き戸錠(ロッド錠)・自閉装置・ 戸当り・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ドアハンドル・ 引き戸錠(ロッド錠)・自閉装置・ 戸当り・ステンレス製巾木・標準金物一式		アルミエッジタイプ・ ステンレス製巾木・標準金物一式	
備考		芯材：ペーパーコア サイン：カッティングシート		芯材：ペーパーコア サイン：カッティングシート		芯材：ペーパーコア サイン：カッティングシート	



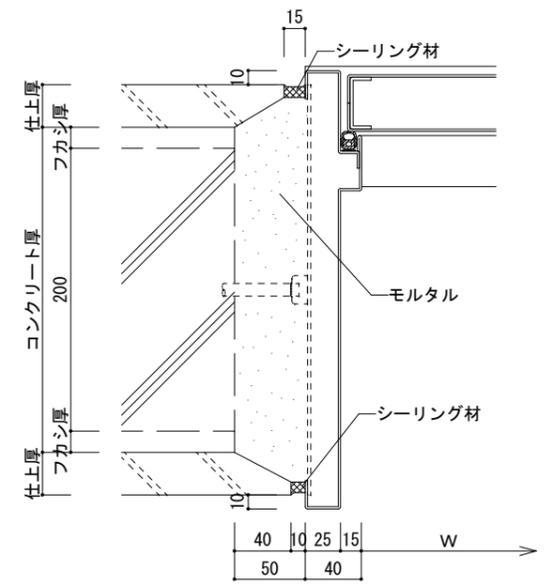
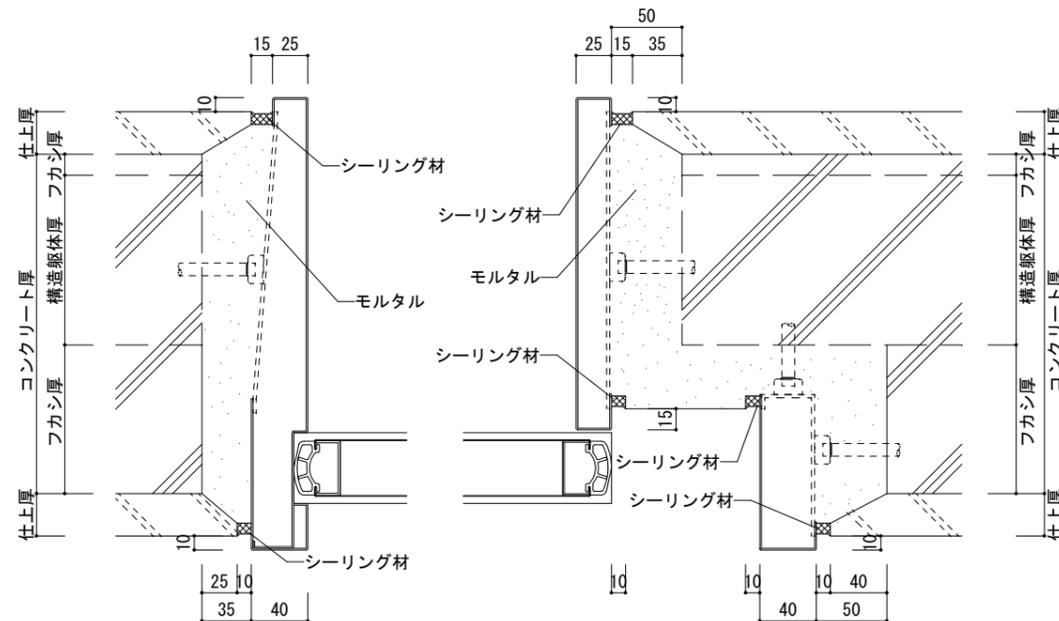
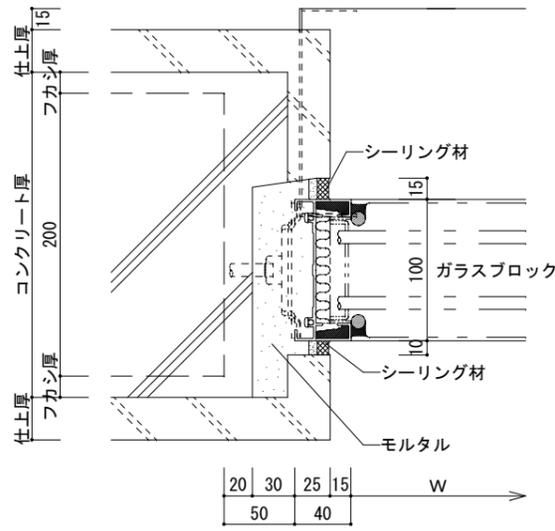
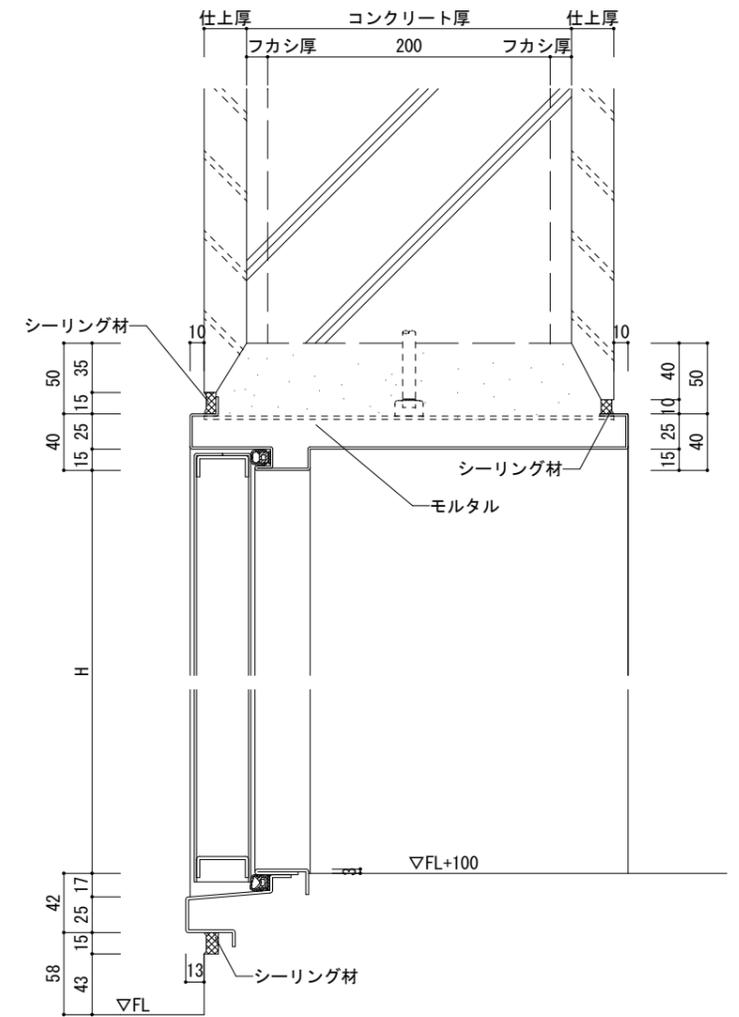
ガラスブロック詳細図



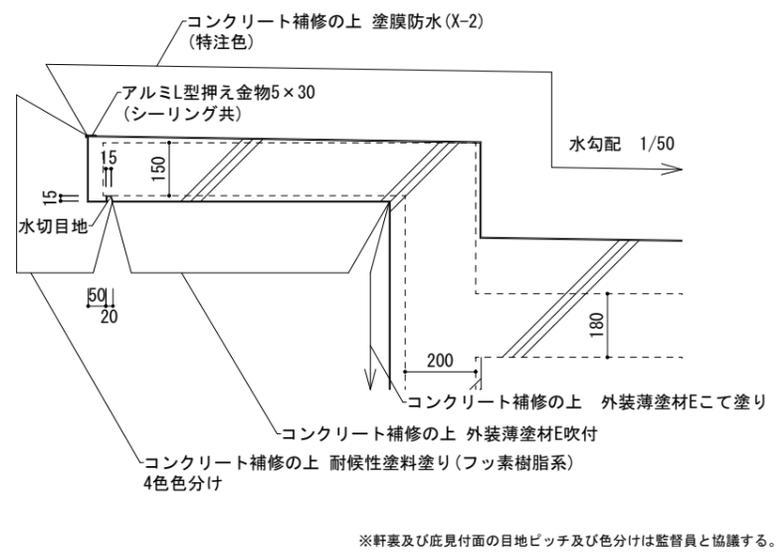
軽量鋼製上吊り引き戸詳細図



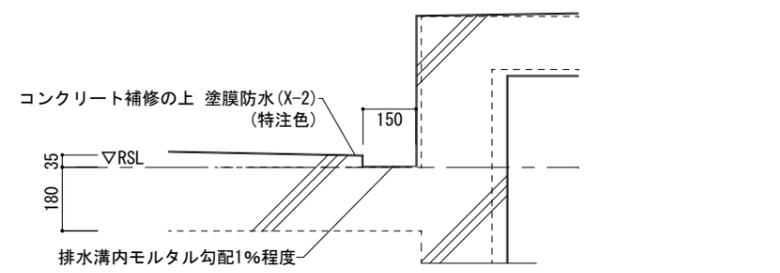
鋼製開き戸詳細図



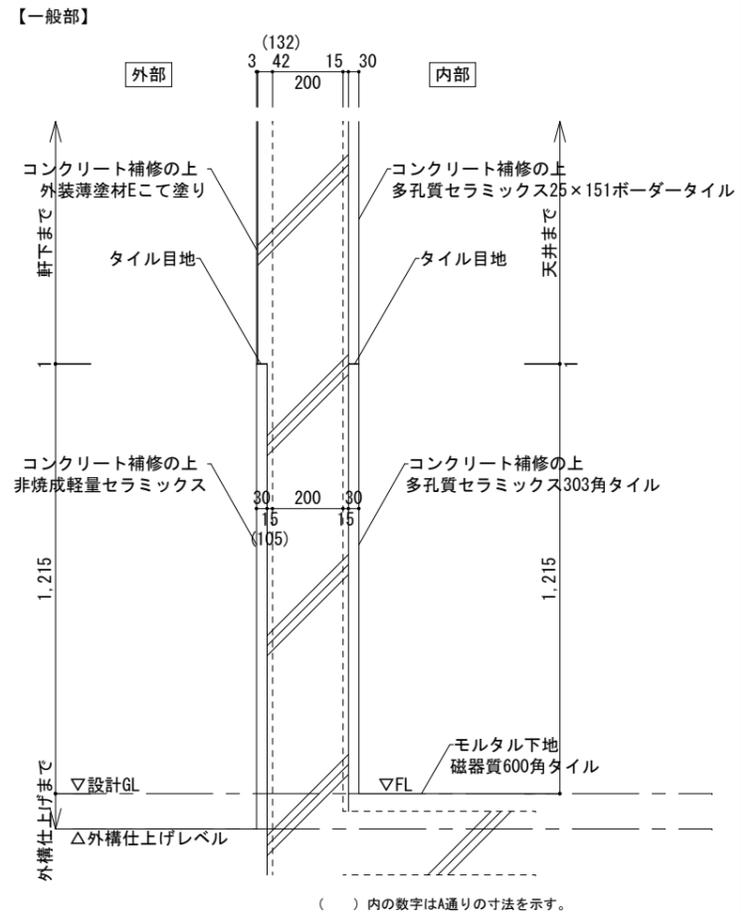
屋上詳細図 1/20



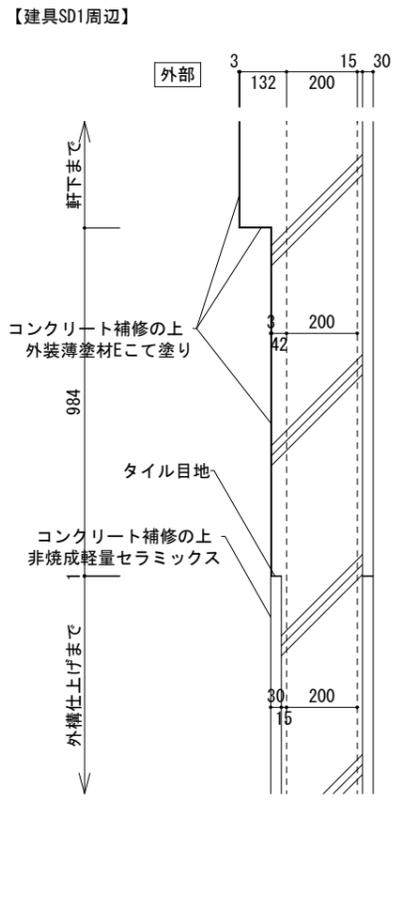
屋上排水溝詳細図 1/20



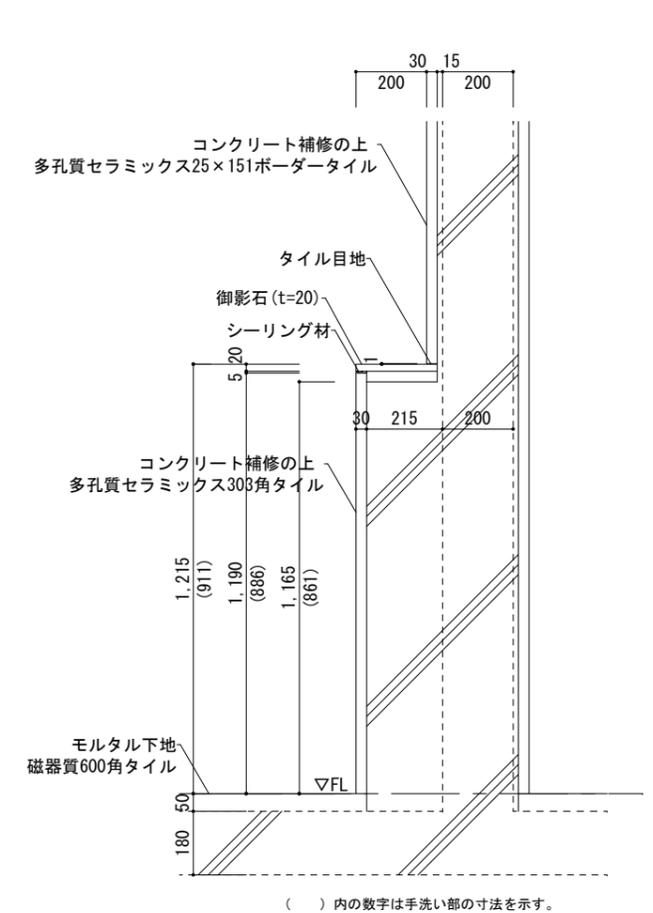
壁仕上げ詳細図 1/20



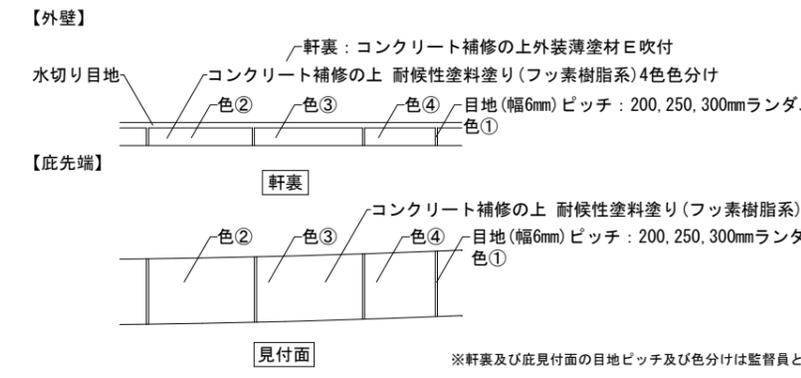
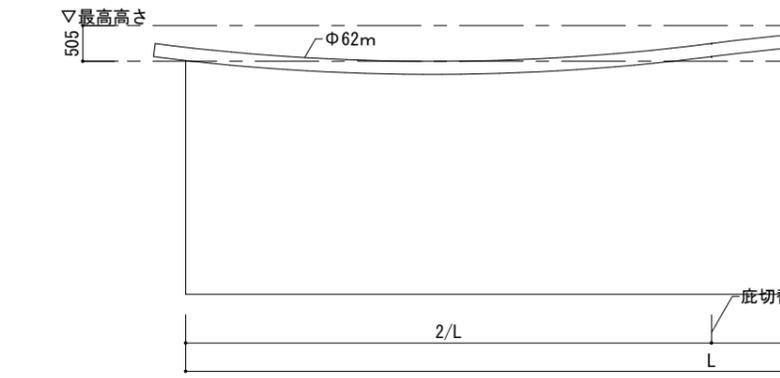
【建具SD1周辺】 1/20



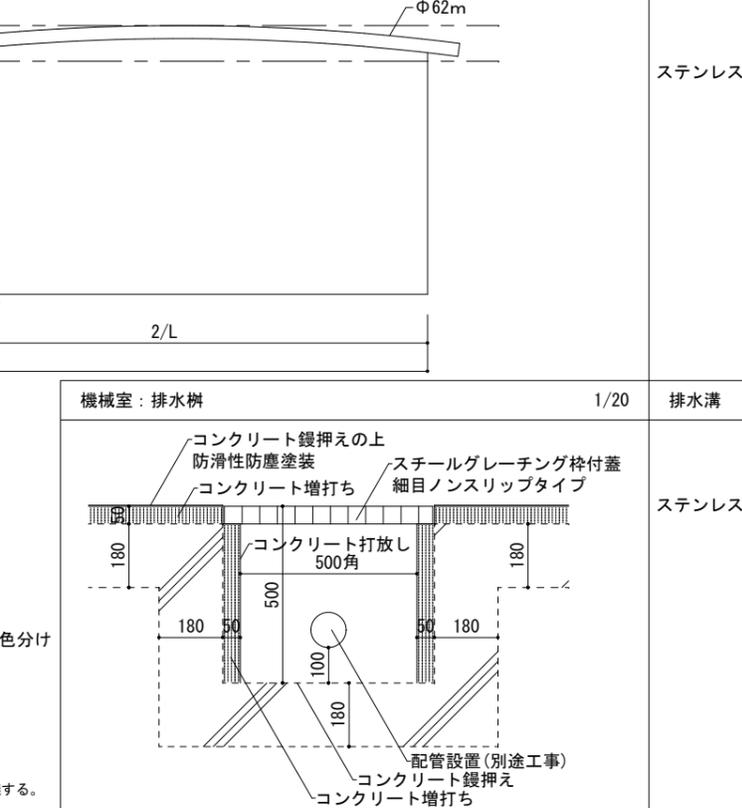
面台詳細図 1/20



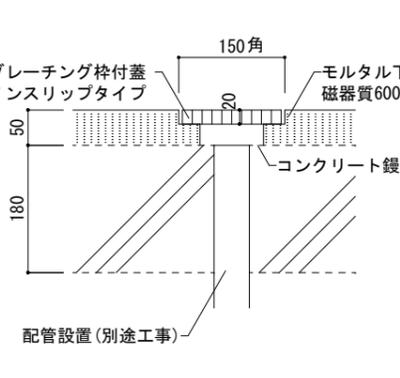
機械室：排水樹 1/20・1/100



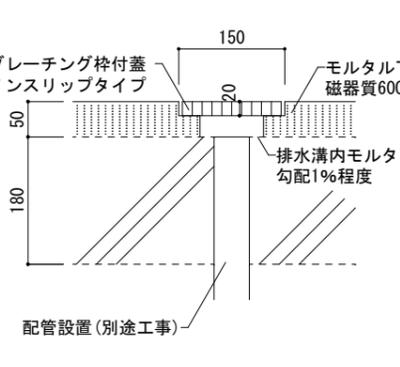
機械室：排水樹 1/20



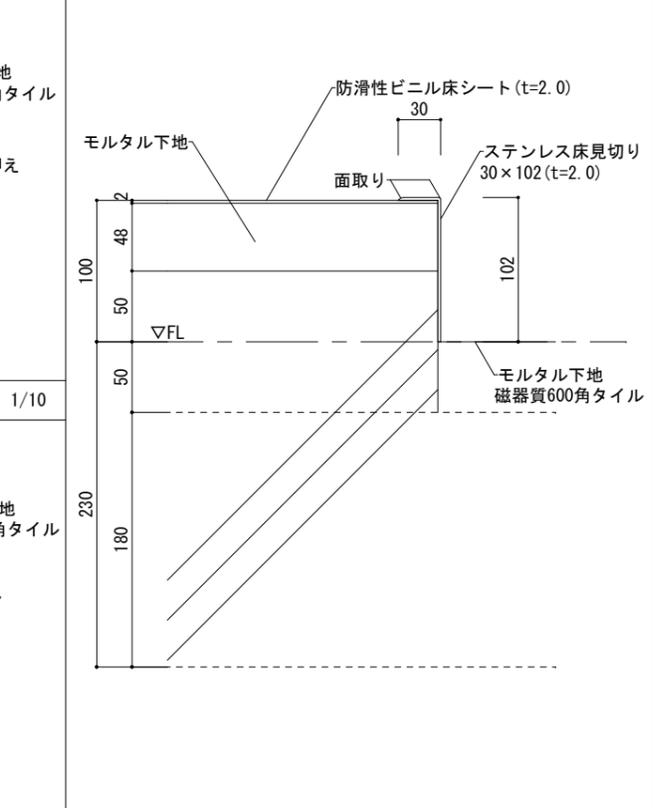
排水樹 1/10



排水溝 1/10



更衣室床詳細図 1/5



S-1	ピクトサイン	S=1/10	1箇所	S-2	ピクトサイン	S=1/10	1箇所	S-3	ピクトサイン	S=1/10	1箇所	S-4	ピクトサイン	S=1/10	3箇所	S-7	サイン	S=1/10	1箇所
												<p>材質：カッティングシート</p>			<p>材質：カッティングシート</p>				
<p>材質：透明アクリル製(平付型) 飾りビス固定</p>				<p>材質：透明アクリル製(平付型) 飾りビス固定</p>				<p>材質：透明アクリル製(平付型) 飾りビス固定</p>				<p>材質：カッティングシート</p>			<p>材質：カッティングシート</p>				
S-5				S-6				S-8				S-9							
<p>サイン</p> <p>S=1/10</p> <p>1箇所</p>				<p>サイン</p> <p>S=1/10</p> <p>1箇所</p>				<p>サイン</p> <p>S=1/10</p> <p>1箇所</p>				<p>ピクトサイン</p> <p>S=1/10</p> <p>1箇所</p>							
<p>材質：カッティングシート</p>				<p>材質：カッティングシート</p>				<p>材質：カッティングシート</p>				<p>材質：ステンレス切り文字 ボルト固定</p>							

S-10 点字感知案内図サイン S=1/5 1箇所

3Dピクト(女子用)

トイレのご案内

材質：アルミ製(平付型)
ボルト固定・点字文字・3Dピクト(3箇所)

S-11 サイン S=1/10 2箇所

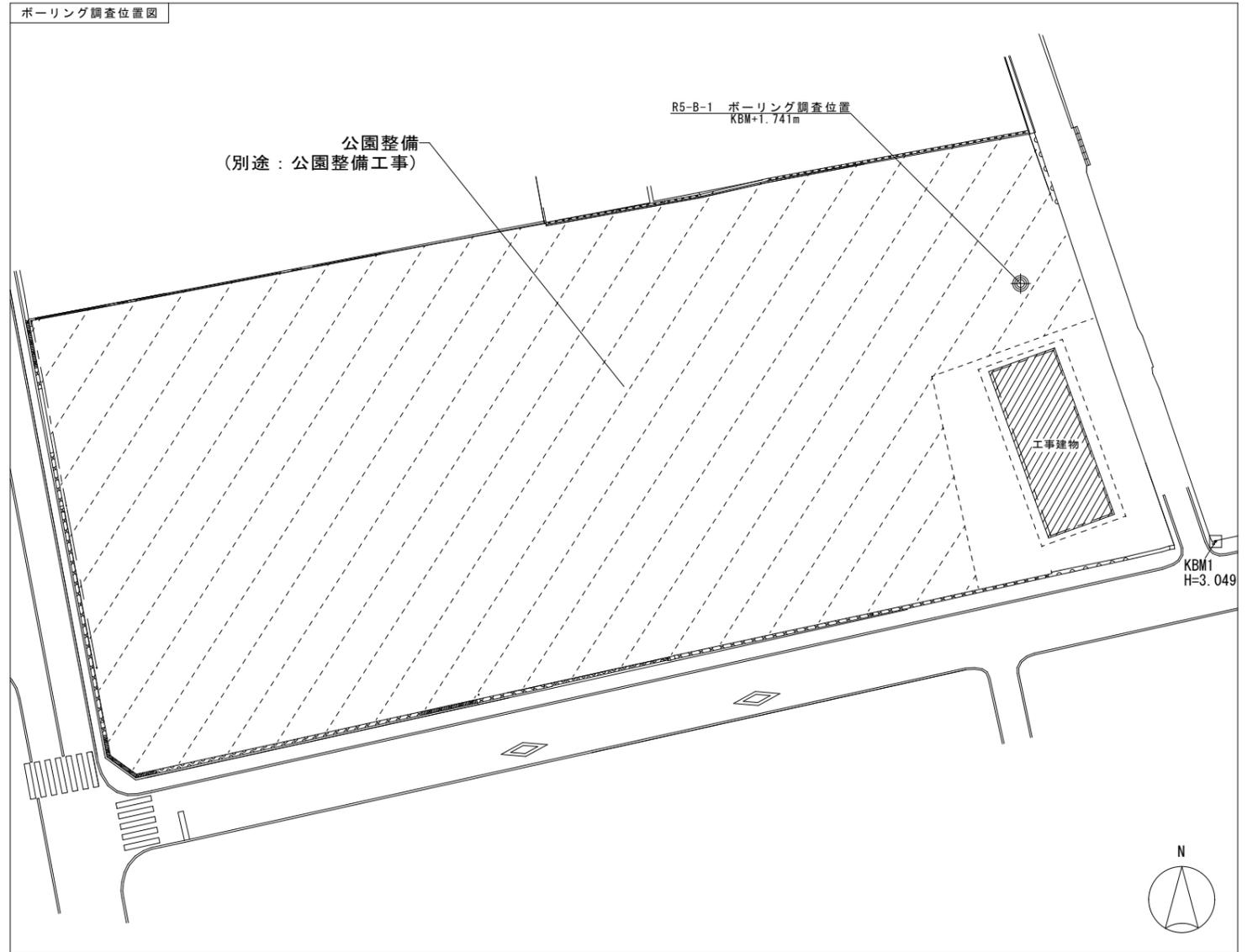
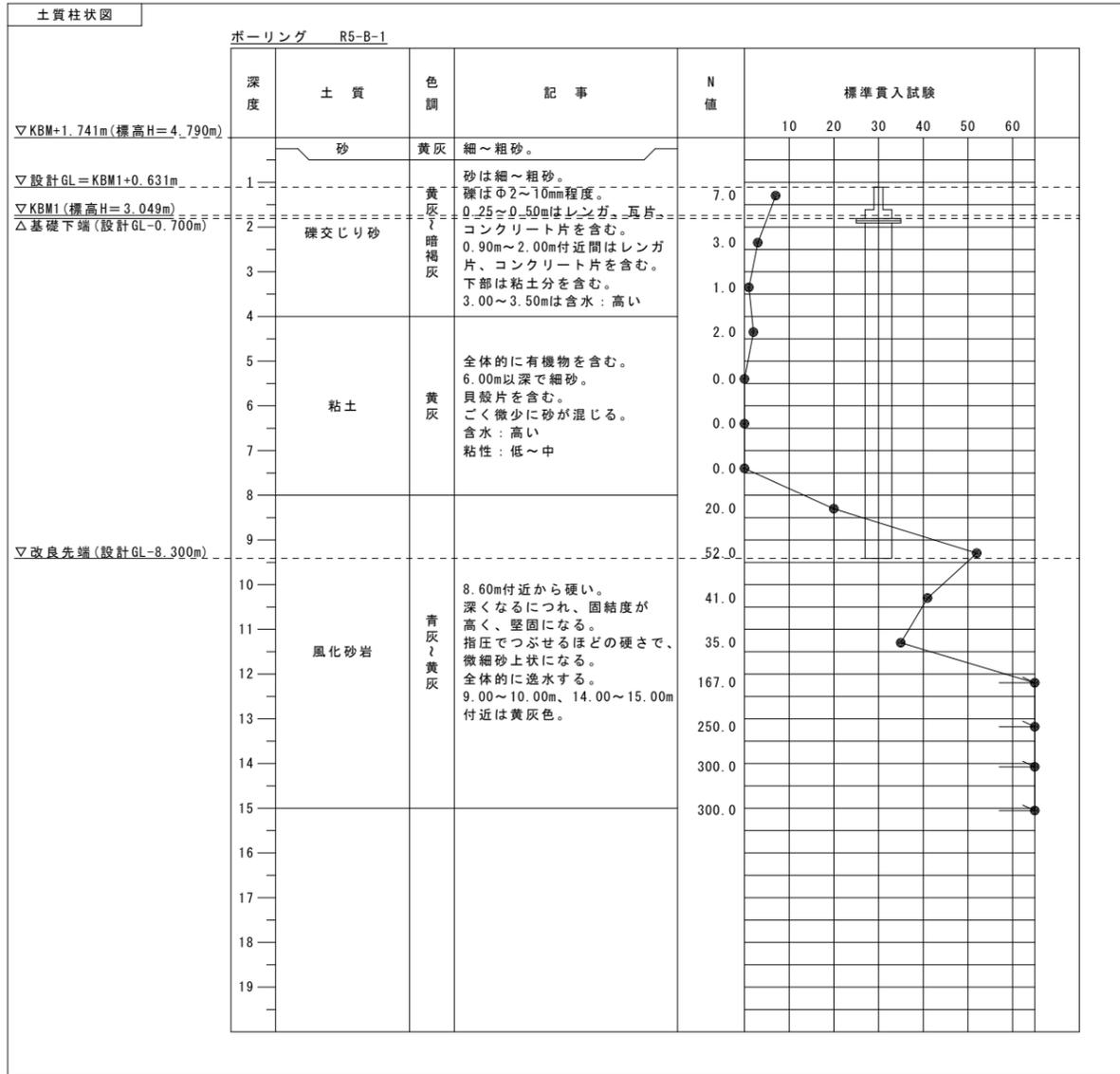
○子更衣室使用中

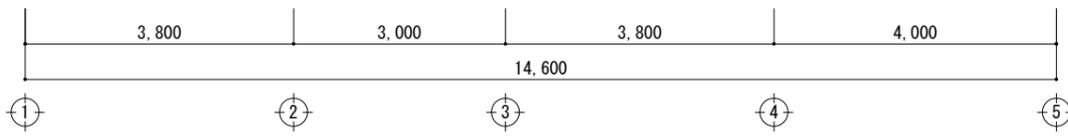
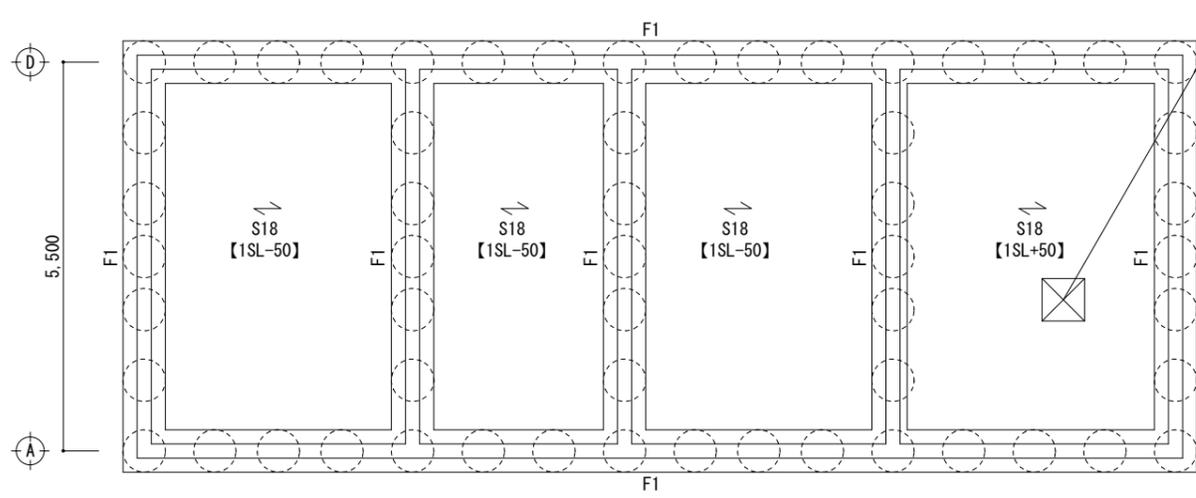
○：男又は女

材質：アルミ複合板シート貼(平付型)
ボルト固定

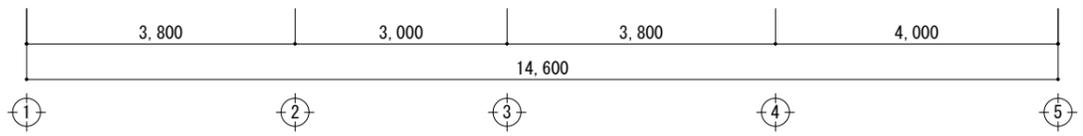
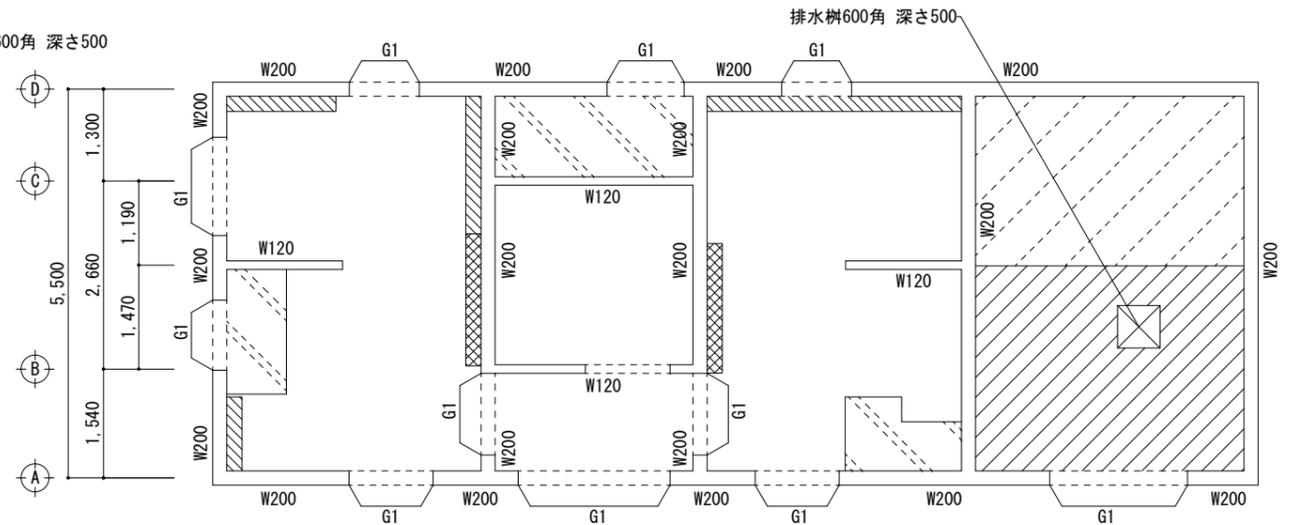
サイン配置図 S=1/100

※サインの内容、大きさ及び設置位置は監督員と協議する。
※サインはJIS Z8210案内用図記号に適合とする。
※屋外仕様とする。

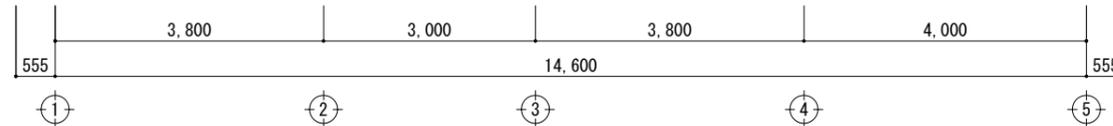
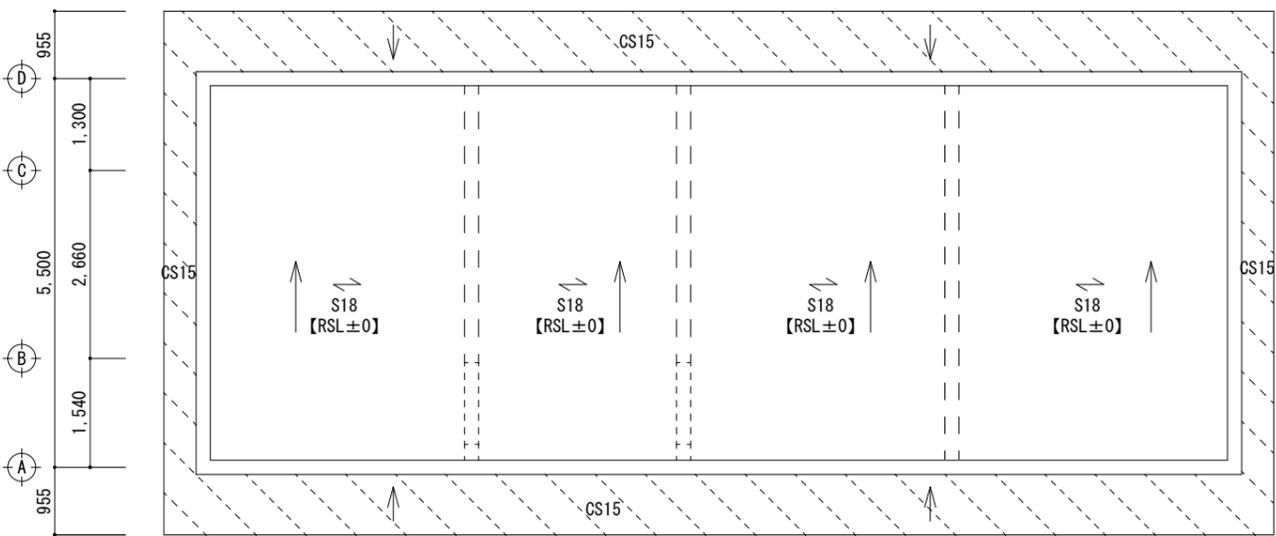




基礎伏図 S=1/100



1階伏図 S=1/100

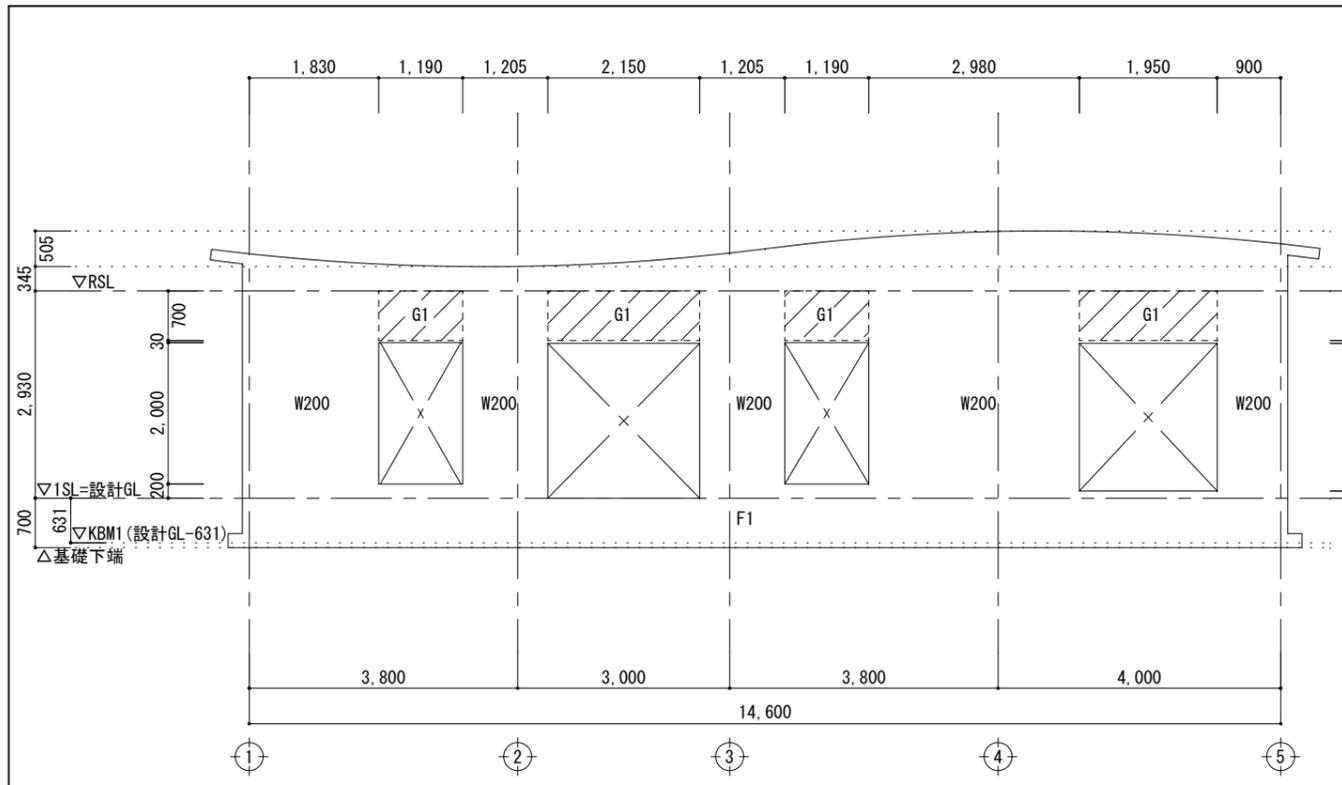


R階伏図 S=1/100

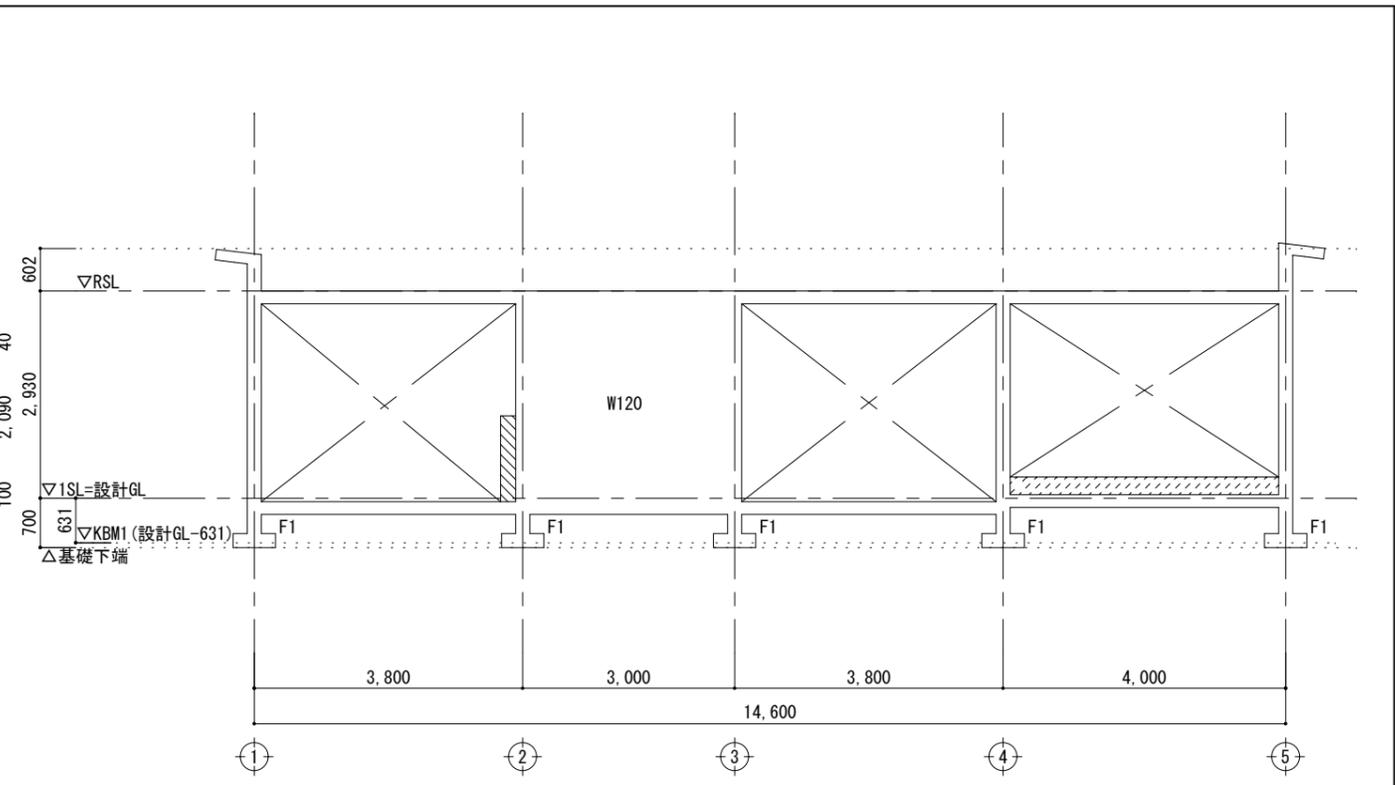
地盤改良(スリーエスG-cubu工法)	
改良径	Φ600mm
改良長	7.5m
本数	57本
長期耐力	Lfe=50kN/m ²

共通事項

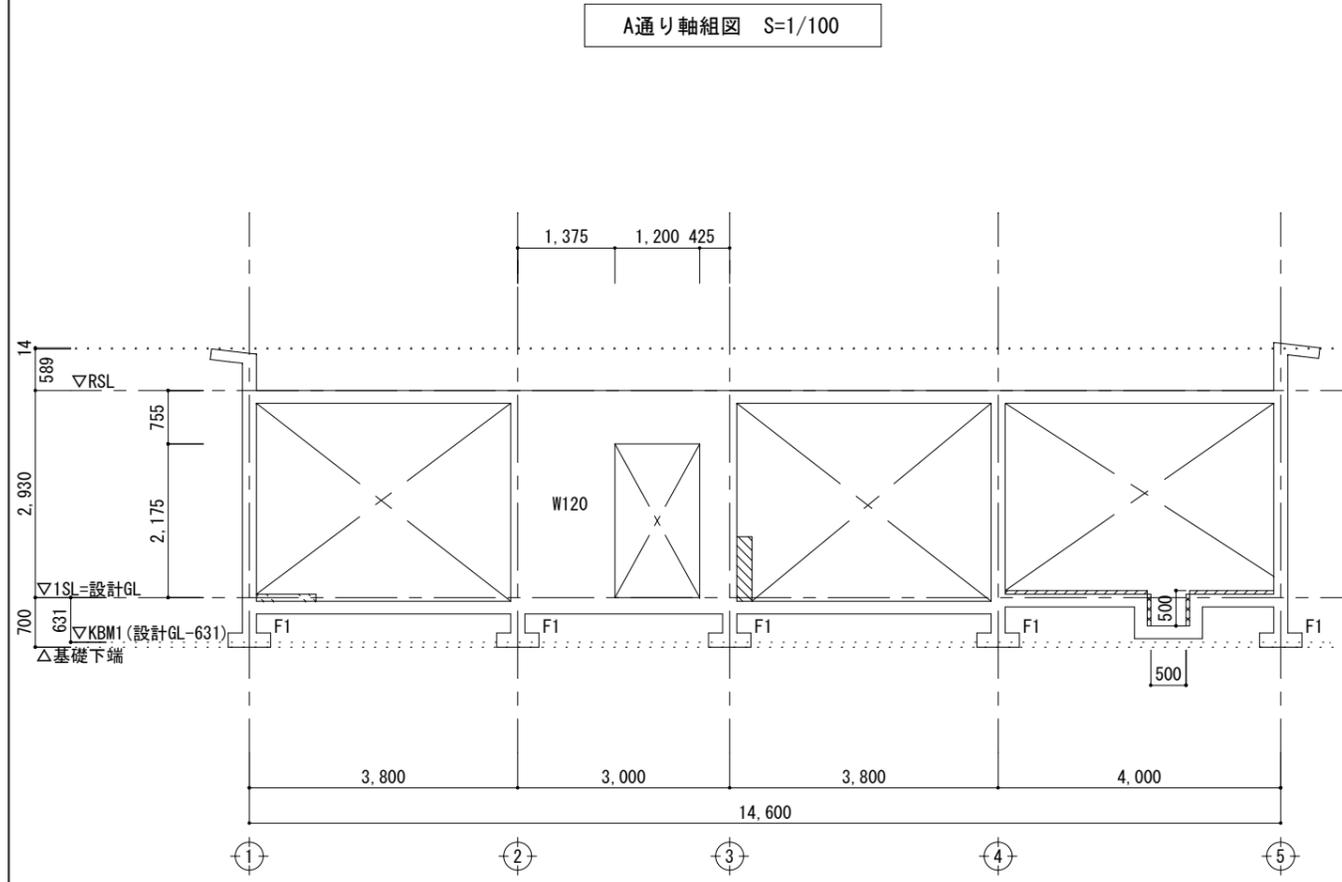
- 特記なき限り下記とする。
1. 基礎下端 設計GL-700
 2. 1SL = 設計GL±0
 3. 【 】内の数値はSLからのスラブ天端レベルを示す。
 4. [斜線]印はスラブ天端1SL+50まで増打ちを示す。
 5. [斜線]印はスラブ天端1SL+100まで増打ちを示す。
 6. [斜線]印はスラブ天端1SL+300まで増打ちを示す。
 7. [斜線]印はスラブ天端レベルRSL+345~850を示す。
 8. [斜線]印は壁の側面を1SL+861まで増打ちを示す。
 9. [斜線]印は壁の側面を1SL+1,165まで増打ちを示す。
 10. スラブ天端と梁天端が異なる場合は梁天端を同一部材で屋内外となる床スラブ、壁、梁は、増打ちする。
 11. 全て屋外としてかぶり厚を確保する。
 12. ↓印はスラブの主筋方向を示す。
 13. ()内の数値はRSLからの梁天端レベルを示す。
 14. ←印は水勾配(フカシ勾配1/50)を示す。
 15. ○印は地盤改良位置を示す。



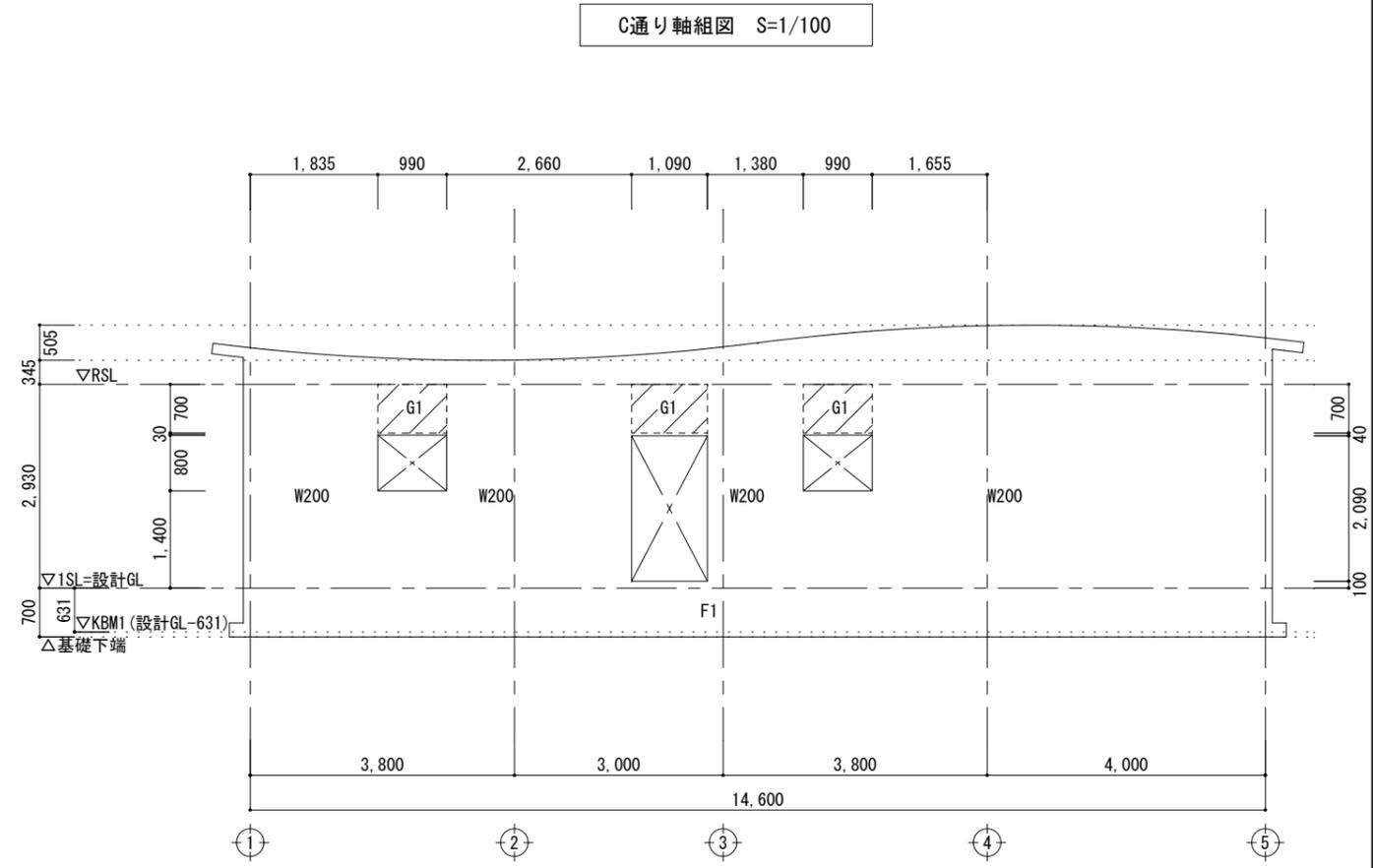
A通り軸組図 S=1/100



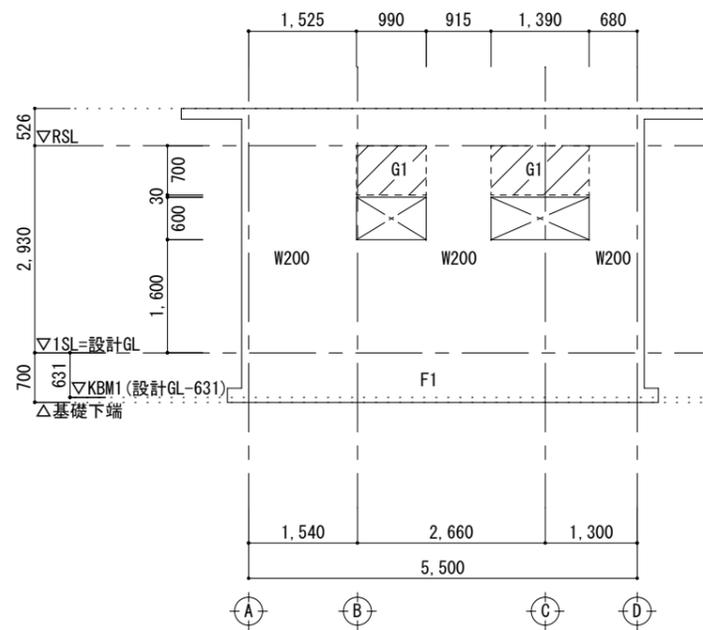
C通り軸組図 S=1/100



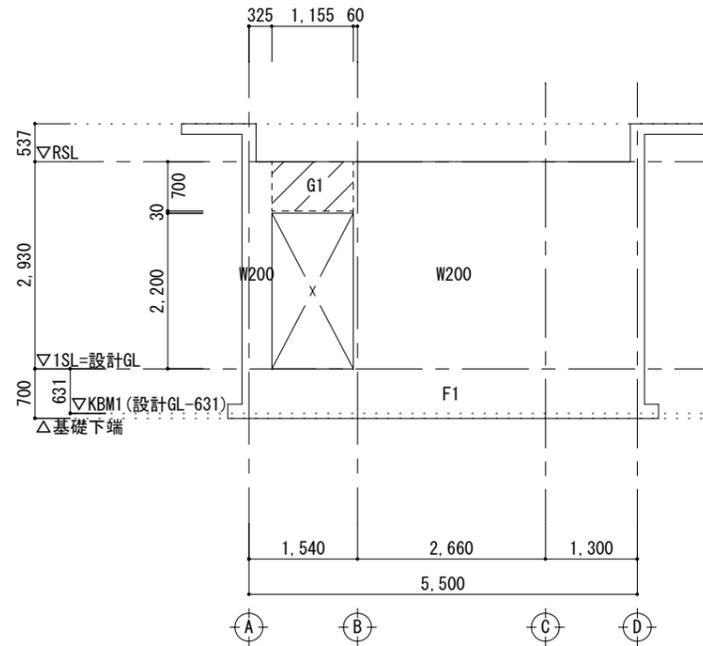
B通り軸組図 S=1/100



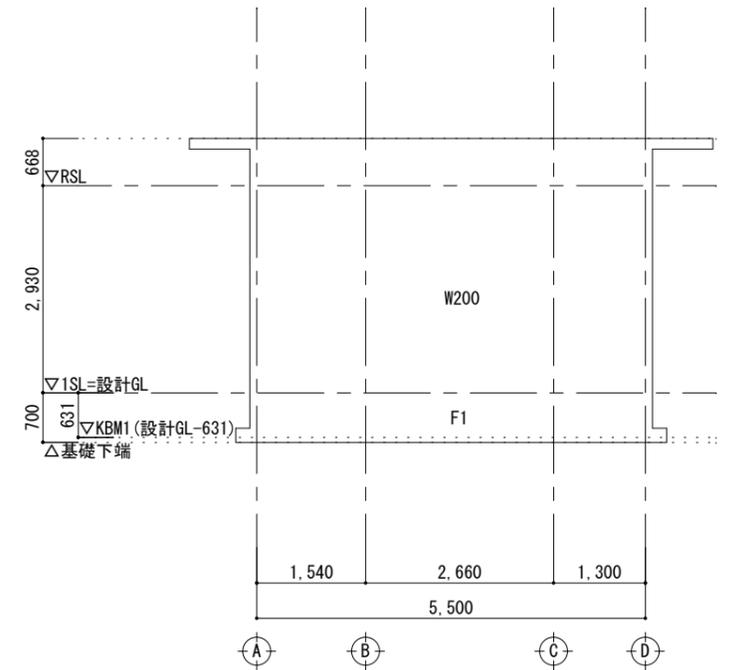
D通り軸組図 S=1/100



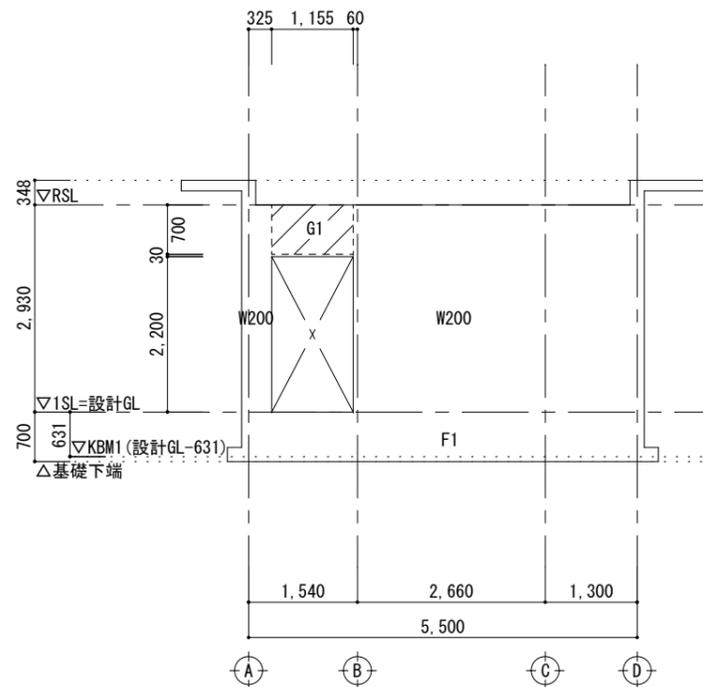
1通り軸組図 S=1/100



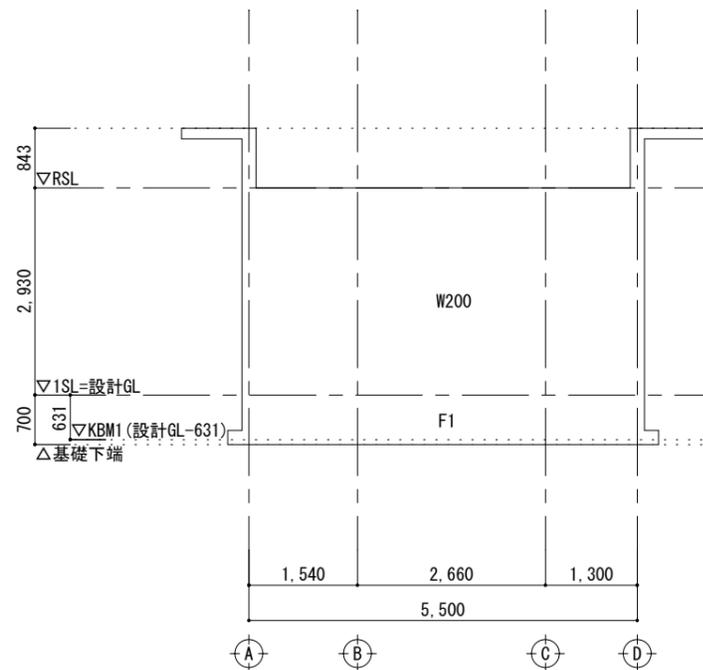
3通り軸組図 S=1/100



5通り軸組図 S=1/100

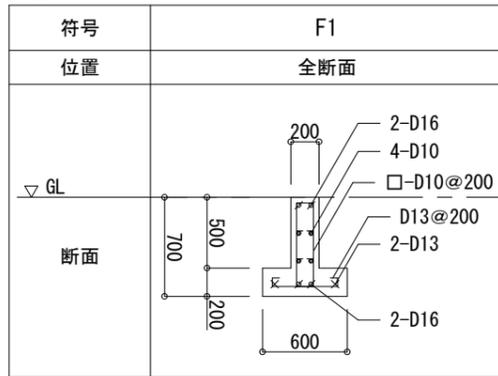


2通り軸組図 S=1/100



4通り軸組図 S=1/100

基礎リスト



壁リスト

符号	W120	W200
立断面		
縦筋	D10 @200 S	D10 @200 D
横筋	D10 @200 S	D10 @200 D
交差部補強筋	1-D13	4-D13
開口補強筋(縦筋)<端部補強含む>	1-D13	2-D13
開口補強筋(横筋)	1-D13	2-D13
開口補強筋(斜筋)	1-D13	2-D13

壁梁リスト

符号	G1
位置	全断面
断面	
b x D	200x700
上端筋	2-D13
下端筋	2-D13
スターラップ	2-D10 @200
腹筋	4-D10

スラブリスト

符号	版厚 t	位置	短辺方向 (主筋)	長辺方向 (配力筋)
S18	180	上端筋	D13 @ 150	D10, D13 @ 150
		下端筋	D13 @ 150	D10, D13 @ 150

片持ちスラブリスト

符号	版厚		位置	主筋	配力筋
	元端	先端			
CS15	150		上端筋	D13 @ 150	D10 @ 250
	150		下端筋	D10 @ 150	D10 @ 250

共通事項

- 特記なき限り下記とする。
- 設計かぶり厚さは最小かぶり厚さに10mm以上加算する。
 - スペーサーなど鋼製部品がかぶり厚さに接する範囲は防錆処理をする。

共通事項(基礎)

- 特記なき限り下記とする。
- 巾止め筋はD10 @1,000とする。
 - 土に接する地業の厚みは下記とする。
捨コンクリート：50mm
砕石：50mm

使用材料

鉄筋
D10 - D16 : SD295

共通事項(壁)

- 特記なき限り下記とする。
- 巾止め筋はD10 @1,000とする。
 - 外壁、@ 3,000前後毎にひび割れ誘発目地を設けること。
 - S：シングル配筋
D：ダブル配筋
 - スラブに接する開口隅角部の斜め筋は、省略しても良い。

共通事項(壁梁)

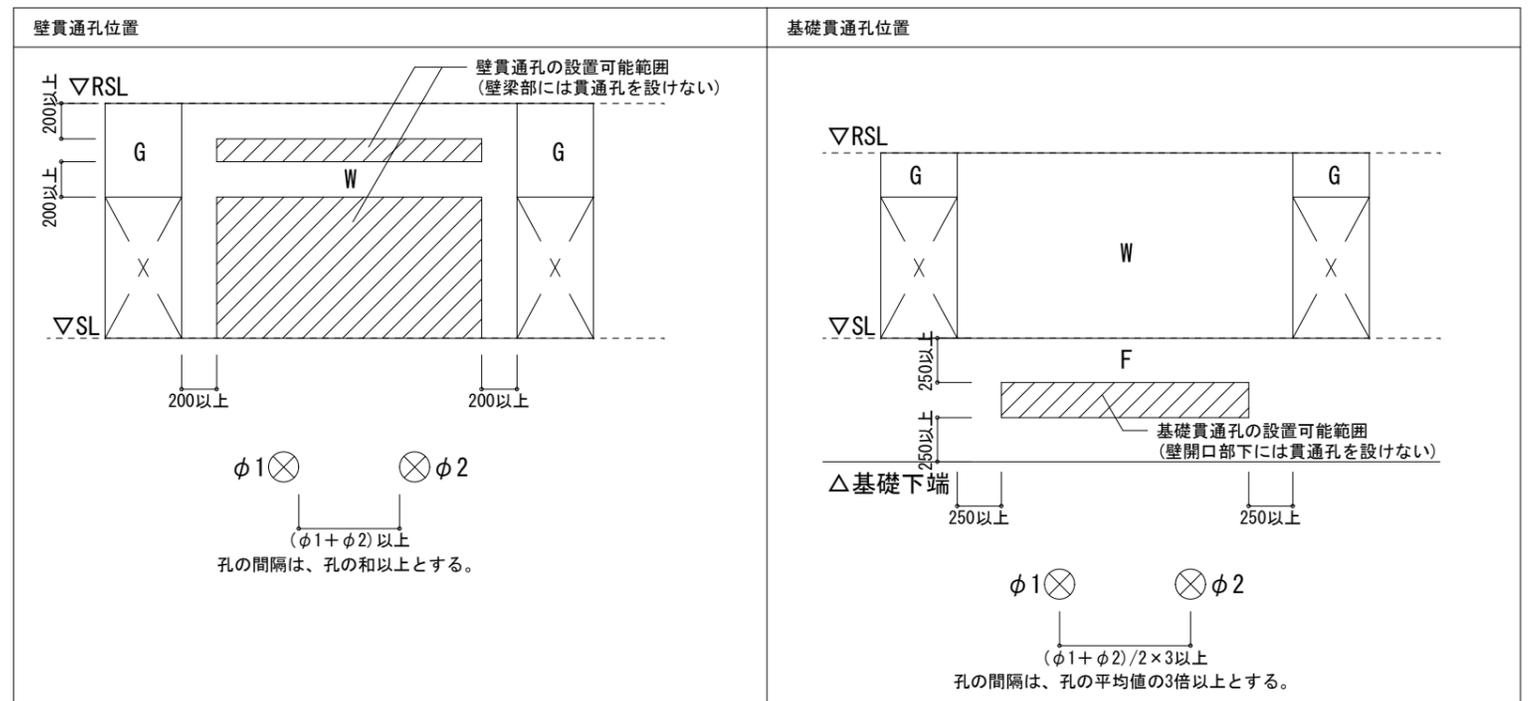
- 特記なき限り下記とする。
- 巾止め筋はD10 @1,000とする。
 - 壁梁主筋はL2定着とする。

共通事項(スラブ)

- 特記なき限り下記とする。
- スラブには、設備配管を埋め込まない。
やむを得ずスラブに配管類を埋め込む場合は、管類はスラブ上下配筋の中間に納め、配管類間のあきは50mm以上とする。

共通事項(片持ちスラブ)

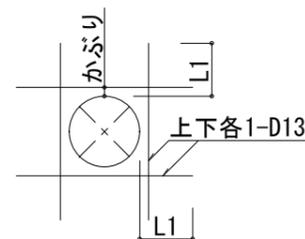
- 特記なき限り下記とする。
- 片持ちスラブは、@ 3000前後毎にひび割れ誘発目地を設ける。
 - 下端筋のかぶり厚さは40を確保する。(誘発目地共)



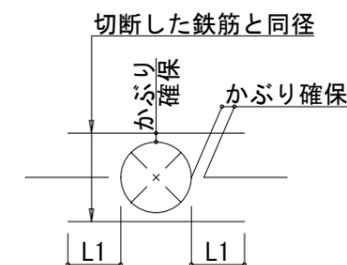
床・壁開口部の補強 (小開口の場合200φ以下)

小開口がある場合は、下記補強を行うこと。又、小開口に鉄筋が干渉する場合、鉄筋を切断し下記開口補強筋とは別に鉄筋を補強する。

設備小開口
1つ



小開口と鉄筋が干渉する場合

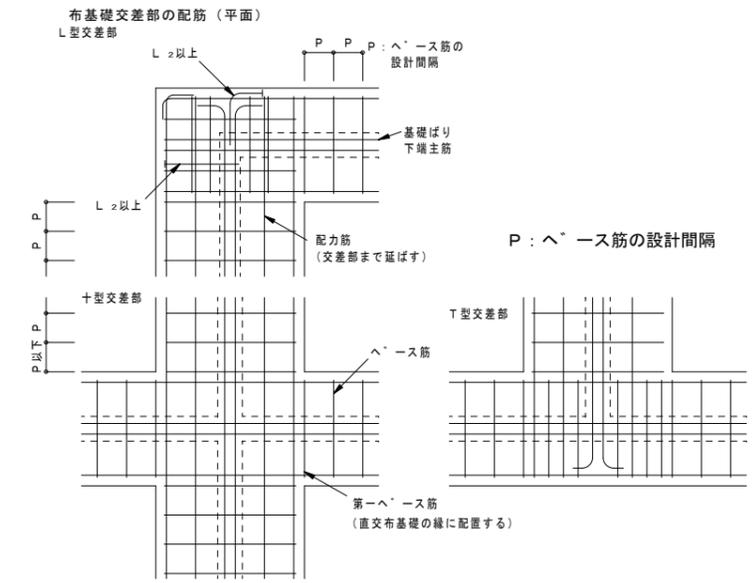


福山市建設局建築部営繕課
設計 2025年 9月

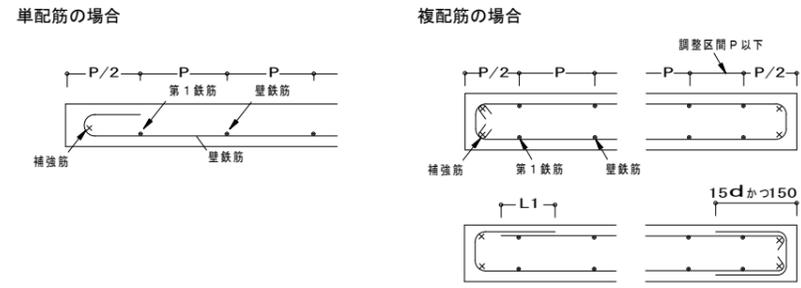
工事名称
丸之内公園便所新築工事
図面名称
部材リスト

縮尺
S=No Scale

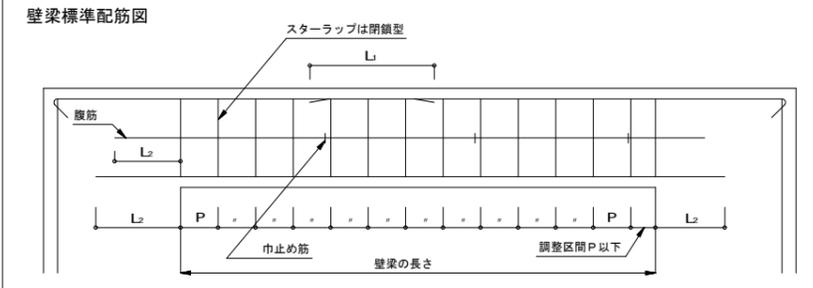
布基礎配筋要領



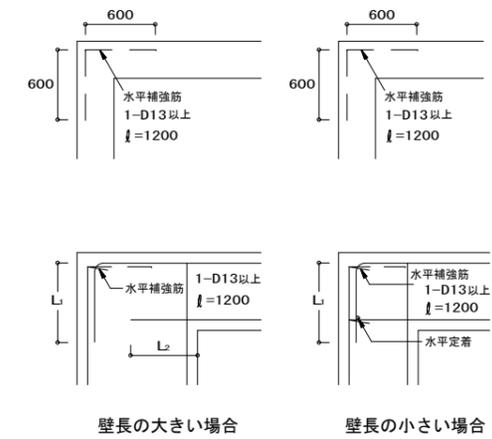
壁筋配筋要領



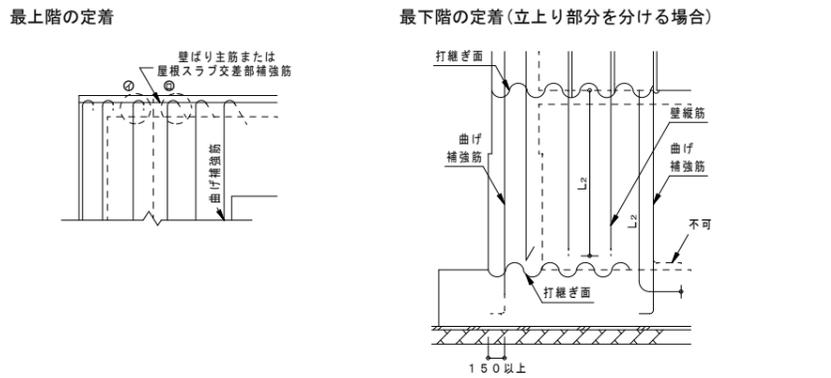
壁梁配筋要領



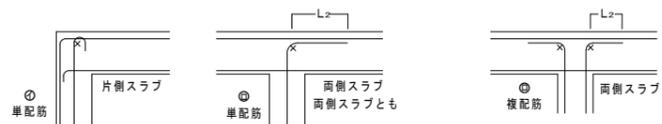
定着



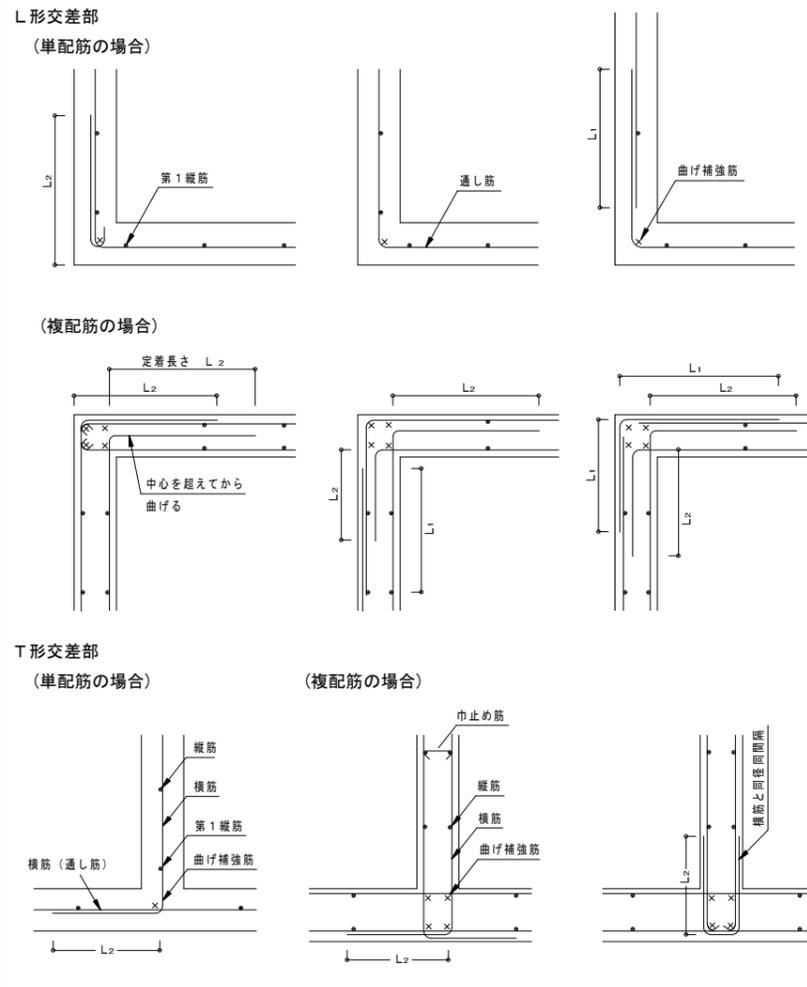
壁縦筋・曲げ補強筋定着要領



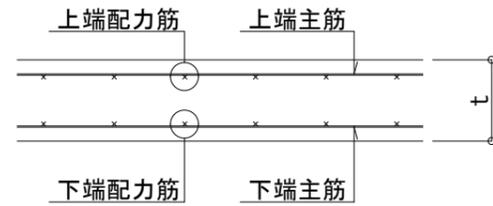
耐力壁と床・屋根スラブ



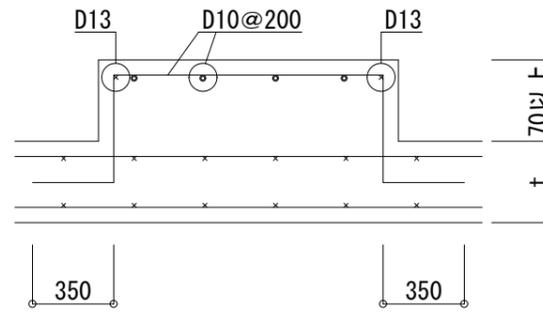
壁交差部配筋要領



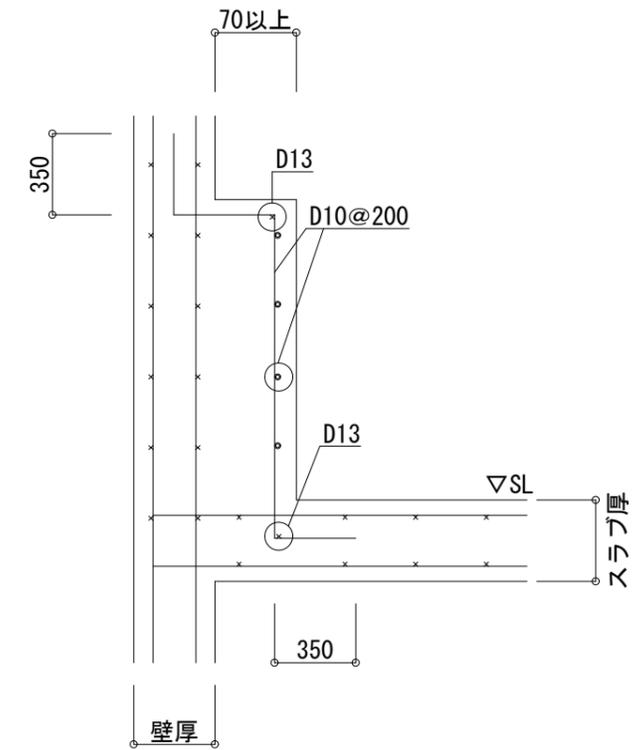
スラブ配筋要領図



スラブ増打ち配筋要領図

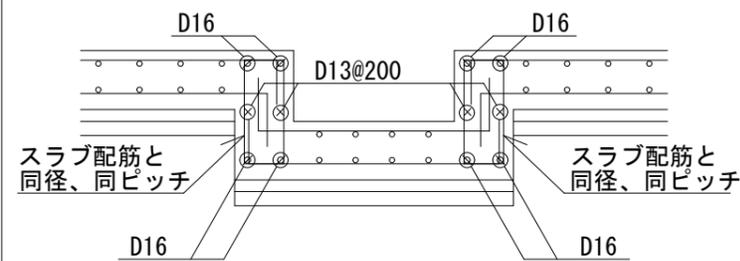


壁増打ち配筋要領図



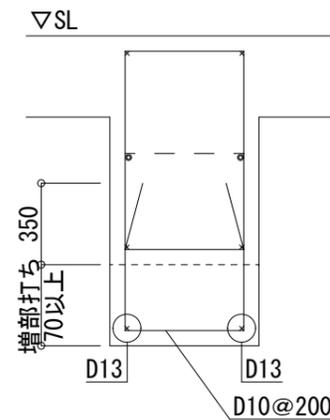
排水桝配筋要領図

◎ 原則として開口により除外される鉄筋本数に1を足した本数以上を補強すること。

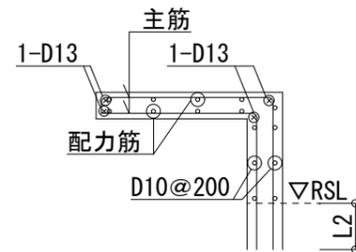


※配筋は、スラブによる。

壁梁増打ち配筋要領図

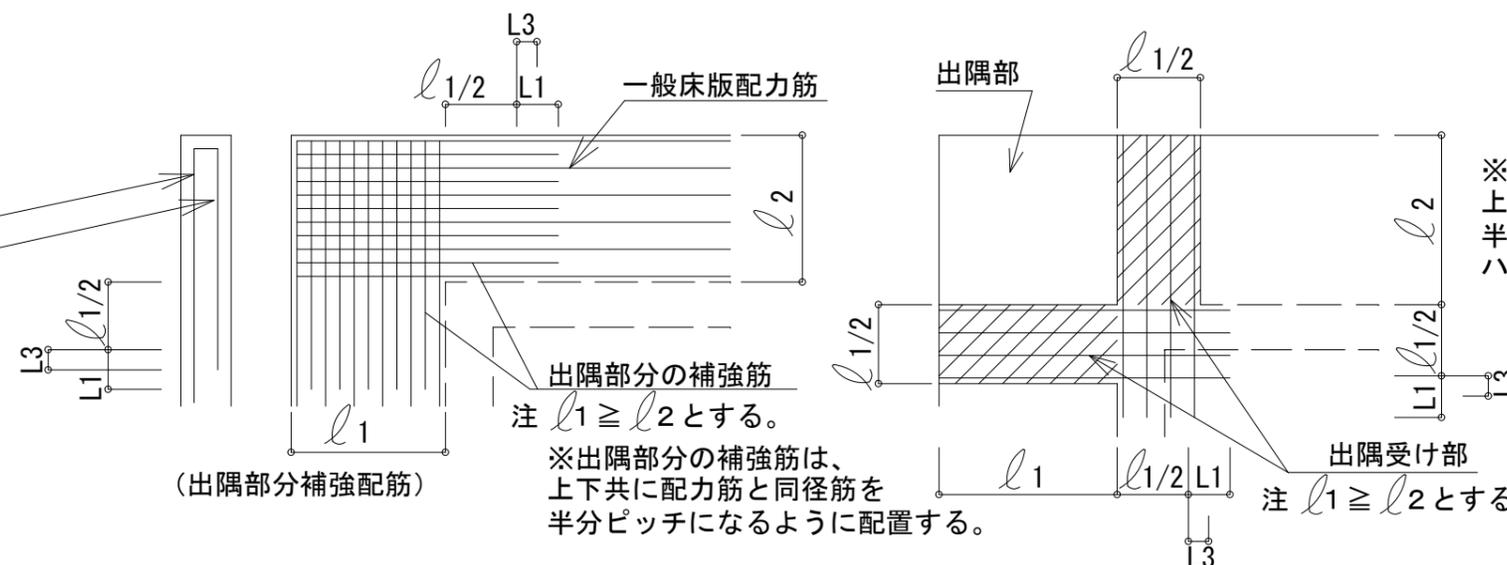


片持ちスラブ配筋要領



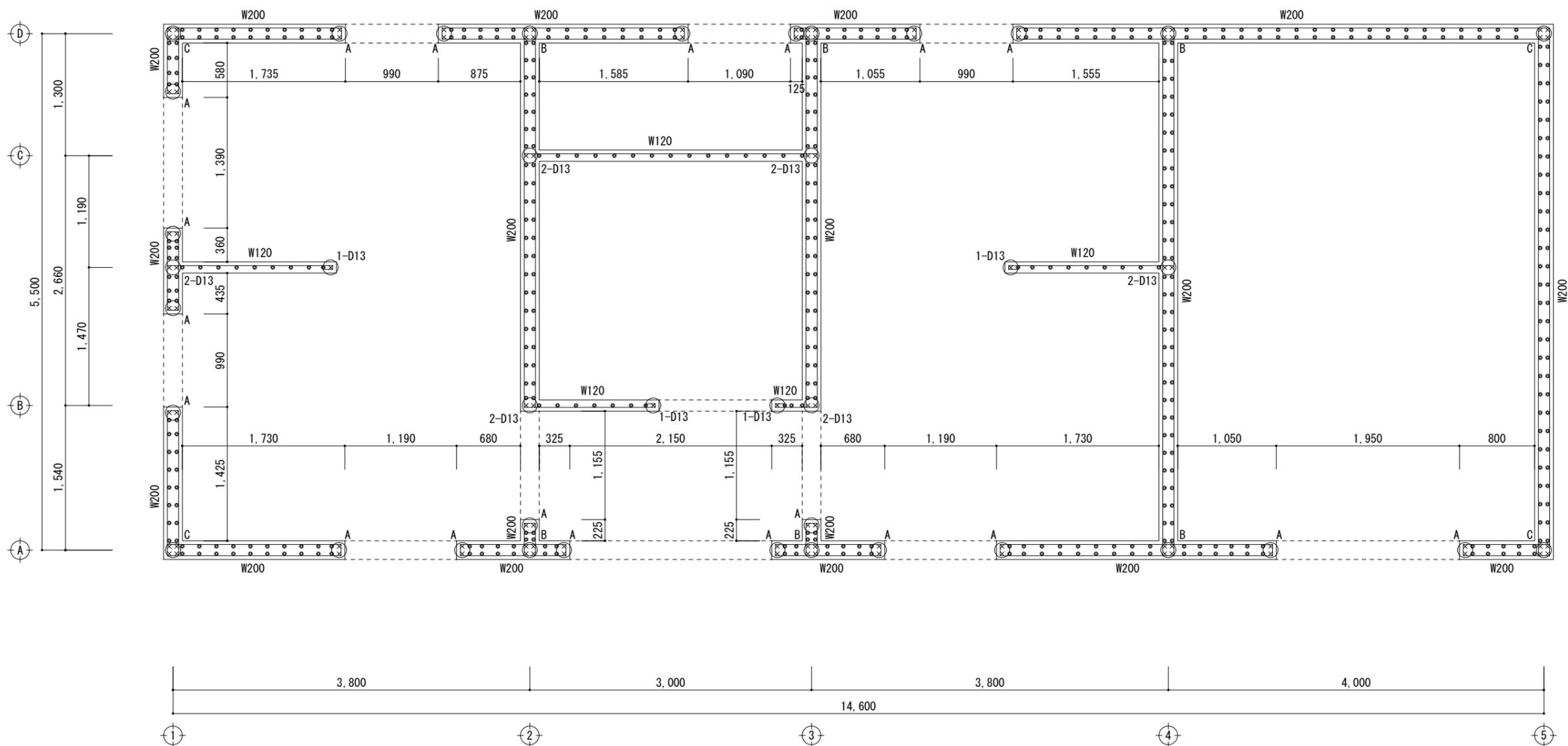
片持ちスラブ出隅部補強

(つなぎ部の中間に上端筋はD13、下端筋はD10を設ける)
L3は下端筋の定着
出隅部分の補強筋



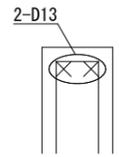
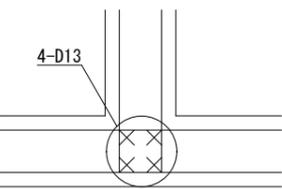
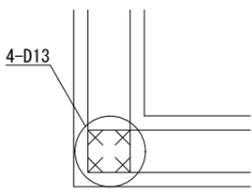
※出隅部分の補強筋及び出隅受け部補強筋の定着長さは、上端筋は $l_1/2 + L1$ とし、下端筋は $l_1/2 + L3$ とする。

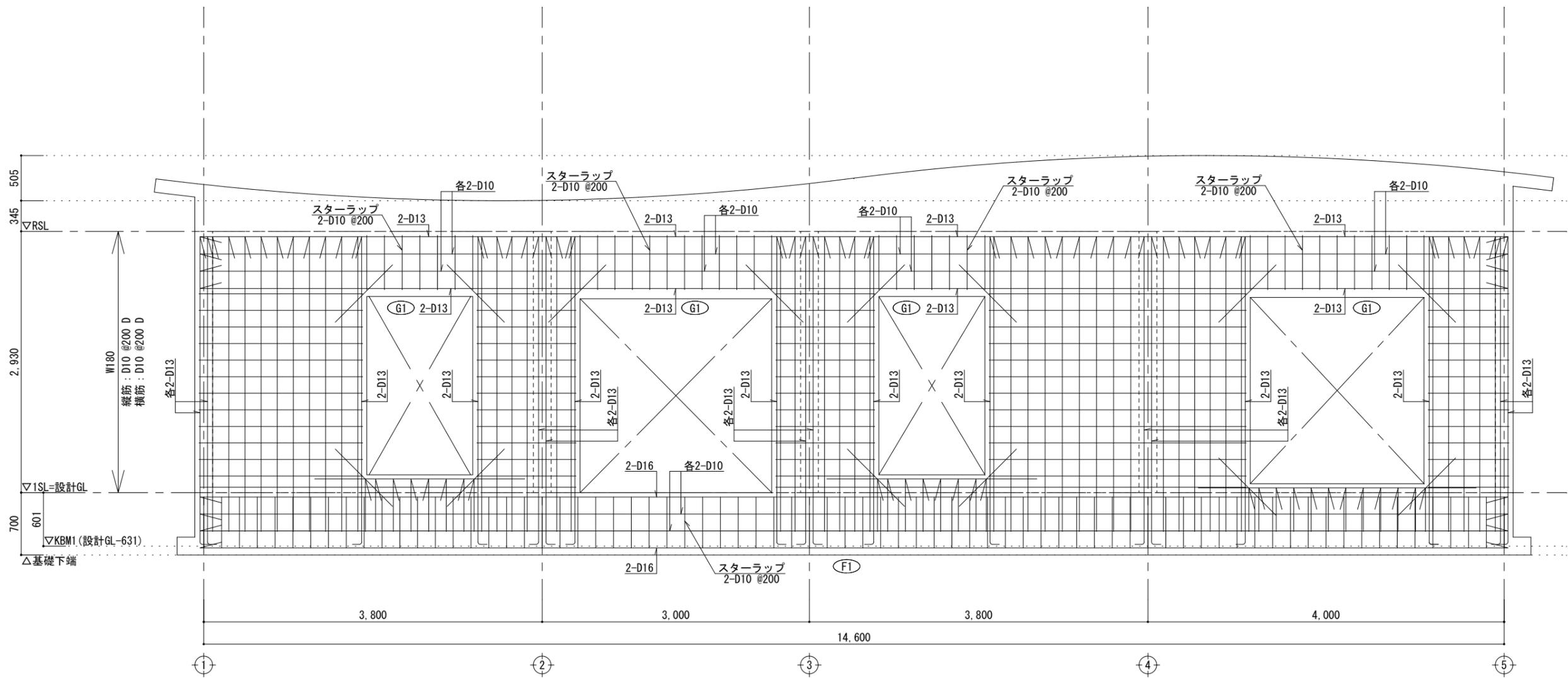




壁平面配筋詳細図 S=1/50

壁端部曲げ補強筋

Aタイプ	Bタイプ	Cタイプ
		



A通り架構配筋詳細図 S=1/50

参考数量書

§ 工事名称 丸之内公園便所新築工事

§ 工事場所 福山市丸之内二丁目地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 丸之内公園便所新築工事

工事場所 福山市丸之内二丁目地内

【工事概要】
・構造 鉄筋コンクリート造 平家建て
・規模 延べ床面積 80.3㎡

【別途工事】
・給排水衛生設備工事
・電気設備工事
・公園整備工事

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直 接 工 事 費	1	式		
計				

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築主体工事	1	式		
計				

建築主体工事						
名	称	数	量	単位	金額	備考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
防水		1		式		
石		1		式		
タイル		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内装		1		式		
ユニット及びその他		1		式		
発生材処理		1		式		
	計					

建築主体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地盤改良	1	式		
計					
鉄筋		1	式		
計					
コンクリート		1	式		
計					
型枠		1	式		
計					
防水		1	式		
計					
石		1	式		
計					
タイル		1	式		
計					
屋根及びとい		1	式		
計					

建築主体工事					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
金属		1	式		
計					
左官		1	式		
計					
建具	アルミニウム製建具	1	式		
建具	鋼製建具	1	式		
建具	トイレブース	1	式		
計					
塗装		1	式		
計					
内装		1	式		
計					
ユニット及びその他		1	式		
計					
発生材処理	運搬	1	式		
発生材処理	処分	1	式		
計					

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
遣方		80.3	m ²			
墨出し		80.3	m ²			
養生		80.3	m ²			
整理清掃 後片付け		80.3	m ²			
外部足場		1	式			別紙 00-0008
災害防止		1	式			別紙 00-0009
内部足場		1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0011
計						

建築主体工事		土工				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
根切り		125	m ³			
埋戻し(A種)	- 山砂の類	96.5	m ³			
床付け		80.3	m ²			
砂利地業	切込碎石	5.3	m ³			
土工機械運搬	根切り、埋戻し -	1	往復			
計						

建築主体工事		地業		地盤改良		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工費	Φ600 改良長7.5m	57	本			
固化材費		41	t			
杭頭処理費		57	本			
機械・機材運搬費		1	式			
管理試験費	事前配合試験 六価クロム溶出試験	1	か所			
管理試験費	頭部モールドコア	1	か所			
管理試験費	深部モールドコア	1	か所			
管理試験費	配合試験用資料土採取	1	式			
一軸圧縮試験費		2	か所			
計						

建築主体工事		鉄筋				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D10	4	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D13	2.7	t			
鉄筋コンクリート用 異形棒鋼	JIS G3112 SD295 D16	0.5	t			
鉄筋加工組立		7.2	t			
鉄筋運搬費	10 t 車 30km程度	7.2	t			
計						

建築主体工事		コンクリート				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通コンクリート	Fc=18N/mm ² S=15cm 捨てコンクリート	5.3	m ³			
普通コンクリート	Fc=21N/mm ² S=18cm 躯体コンクリート	106	m ³			
構造体強度補正		106	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0012
コンクリートポンプ 圧送		1	式			別紙 00-0013
計						

建築主体工事		型枠				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
型枠	普通合板型枠 壁式構造 基礎部 -	79.4	m ²			
型枠	普通合板型枠 壁式構造 地上軸部	559	m ²			
曲面型枠	普通合板型枠 壁式構造 地上軸部	35	m ²			
型枠運搬費	10 t 車 30km程度 往復	673	m ²			
目地	伸縮目地	70.5	m			
目地	水切目地	40	m			
目地	化粧目地	44.5	m			
計						

建築主体工事		防水				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ウレタンゴム系塗膜防水	X-2工法(密着) 平面 特注色 下地調整費共	125	㎡			
ウレタンゴム系塗膜防水	X-2工法(密着) 立上り 特注色 下地調整費共	45	㎡			
シーリング [◇]	一般部 ポリウレタン系(PU-2) 15×10	78.7	m			
シーリング [◇]	一般部 ポリウレタン系(PS-2) 15×10	56.3	m			
シーリング [◇]	一般部 変成シリコン系(MS-2) 15×10	73.4	m			
シーリング [◇]	一般部 変成シリコン系(MS-2) 5×10	94.8	m			
シーリング [◇]	一般部 シリコン系(SR-1) 5×10	83.8	m			
計						

建築主体工事						
タイル						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床タイル張り	磁器質600角 EVS-103同等品	47.2	m ²			
壁タイル張り	非焼成軽量セラミックス LGR-R/DLC-3K同等品 下地調整費共	45.7	m ²			
壁タイル張り	多孔質セラミックス303角レリーフ EPC-303/NTC3N・EPC-303/NTC3FN 同等品 下地調整費共	61.2	m ²			
壁タイル張り	多孔質セラミックス25×151ホラータイル ECP-2515NET/GLN1同等品 下地調整費共	52.6	m ²			
汚垂石	AB611BR#HBA同等品	2.8	m			
計						

建築主体工事		屋根及びとい				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄製横引きトレン	Φ100 EXG-100同等品	2	か所			
竖樋	VP Φ100 化粧カバー含む	6.1	m			
エルボ	Φ100 80° エルボ	4	か所			
オ-ハ-フロー管	EOS-1-50同等品	2	か所			
計						

建築主体工事		金属				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床見切	ステンレス	2.9	m			
軽量鉄骨天井下地	ふところ1.5m未満 下地張りあり インサート含む	45.8	m ²			
軽量鉄骨天井 開口部補強	450×450mm程度 ボルト等切込み共	4	か所			
天井点検口	450角鍵付き落下防止ワイヤー付き HHGS-K454同等品	4	か所			
庇端部水切	7㍑L型押え金物5×30	46.6	m			
計						

建築主体工事 左官						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 防水下地	122	m ²			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	20.7	m ²			
床モルタル塗り	木ごて 大型タイル下地	49.7	m ²			
床モルタル塗り	金ごて ビニール系床材下地	2.7	m ²			
排水勾配モルタル塗り	金ごて	20.9	m			
複層塗材 E	コンクリート面 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	17.6	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共	31.1	m ²			
外装薄塗材 E	コンクリート面 凹凸状 こて塗り アサヒ工業 ショリハットプロファ プロテクタム 同等品 下地調整費(C-1)共	91.7	m ²			
防水形 外装薄塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け 下地調整費(C-1)共	2.9	m ²			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	62.6	m			
計						

建築主体工事		建具		アルミニウム製建具		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
AW-1	ガラスロック窓 W1,010×H1,810 ガラス含む	2	か所			
AW-2	ガラスロック窓 W810×H610 ガラス含む	2	か所			
AW-3	ガラスロック窓 W1,210×H410 ガラス含む	1	か所			
AW-4	ガラスロック窓 W810×H410 ガラス含む	1	か所			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
計						

建築主体工事		建具		鋼製建具		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
SD-1	両開き戸 W2,000×H2,125	1	か所			
SD-2	両開き戸 W1,800×H2,000	1	か所			
SD-3	片開き戸 W940×H2,000	1	か所			
LSD-1	上吊り片引き戸 W1,050×H2,125	1	か所			
SSF-1	三方枠 W1,000×H2,125	2	か所			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
計						

建築主体工事		建具	トイレブース			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
TB-1		1	か所			
TB-2		1	か所			
TB-3		1	か所			
TB-4		2	か所			
TB-5		1	か所			
TB-6		1	か所			
TB-7		1	か所			
TB-8		1	か所			
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
計						

建築主体工事		塗装				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
耐候性塗料塗り (フッ素樹脂系)	コンクリート面 1級 4色色分け フインフッソ同等品 素地ごしらえ及び下塗り共	11.7	m ²			
計						

建築主体工事		内装				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
防滑性ビニル床シート	t=2.0 NS4815同等品	2.7	m ²			
防滑性防塵床塗装	薄膜型ウレタン樹脂系同等品 下地調整費共	20.7	m ²			
ガラスワールボード	t=50 GC4CS同等品 下地調整費共	62.2	m ²			
天井 シーシング せっこうボード 張り(GB-S)	厚12.5 不燃 下地張り	45.8	m ²			
天井 化粧けい酸 カルシウム板	t=6 ASLUX200R同等品	45.8	m ²			
天井廻縁		59.5	m			
計						

建築主体工事		ユニット及びその他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
パブリックシート	EWC520ARN同等品	1	か所			
ベビースーツ	YKA24N同等品	2	か所			
ベビースーツ	YKA15S同等品	3	か所			
L型手摺	T112CL10同等品	3	か所			
P型手摺	T112CP31同等品	2	組			
小便器用手摺	T112CU22同等品	1	か所			
鏡	YM4560FE同等品	4	か所			
荷物フック	YKH22同等品	7	か所			
荷物棚	YKH51A同等品	4	か所			
掃除棚	UTR421S同等品	1	か所			
掃除モップ掛け	UTR422S同等品	1	か所			
点字誘導ブロック	注意喚起用 黄色 ステンレス製点字紙 300×300 ノスリップタイプ	6	か所			
点字誘導ブロック	誘導用 黄色 ステンレス製点字紙 300×300 ノスリップタイプ	2	か所			
ピクトサイン	透明アクリル製サイン平付型 800×200 飾りビス固定	1	か所			
ピクトサイン	透明アクリル製サイン平付型 1,000×200 飾りビス固定	2	か所			
ピクトサイン	ステンレス製切り文字 H=150 ボルト固定	3	か所			
ピクトサイン	カットインシート 100×100	8	か所			
サイン	カットインシート 50×50	14	か所			
サイン	アルミ複合版シート貼 W150×H800 ボルト固定	2	か所			
点字感知案内図サイン	アルミ製サイン平付型 450×600 点字文字、3Dピクト含む ボルト固定	1	か所			

建築主体工事		ユニット及びその他				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
グレーチング樹蓋	500角	1	か所			
グレーチング樹蓋	150角	8	か所			
グレーチング樹蓋	150幅	6.5	m			
塩化ビニル製雨水樹	Φ150	2	か所			
埋設雨水排水配管	VP Φ100	4	m			
計						

建築主体工事	発生材処理		運搬			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	柱状改良残土	41	m ³			
発生材運搬	発生土	125	m ³			
発生材運搬	混合廃棄物	0.1	t			
計						

建築主体工事		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	柱状改良残土	41	m3			
発生材処分	発生土	125	m3			
発生材処分	混合廃棄物	0.1	t			
計						

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場		1	式			別紙 00-0008
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	190	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用90日賃料 修理費含む 12m未満 - -	190	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	190	m ²			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	60.3	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 供用90日賃料 修理費含む -	60.3	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	60.3	m			
計						
災害防止		1	式			別紙 00-0009
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 掛払い手間 - -	190	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 供用90日賃料 修理費含む - -	190	m ²			
養生シート張り	防災性能 JIS A 8952 I類 基本料 修理費含む - -	190	m ²			
計						

建築主体工事		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部足場		1	式			別紙 00-0010
内部躯体足場	掛払い手間 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	72.4	m ²			
内部躯体足場	供用30日賃料 修理費含む 鉄筋・型枠足場 階高4.0m以下 -	72.4	m ²			
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	72.4	m ²			
内部仕上足場	供用60日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	72.4	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	72.4	m ²			
計						
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0011
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	190	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	60.3	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		190	m ²			
仮設材運搬 (内部躯体足場)		72.4	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	72.4	m ²			
計						

建築主体工事		コンクリート				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0012
コンクリート打設手間	捨てコンクリート ポンプ打設 30m3/回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	5.3	m3			
コンクリート打設手間	基礎部 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	12.5	m3			
コンクリート打設手間	躯体 ポンプ打設 50m3/回未満 S15~S18 標準階高 圧送費、基本料別途	93.5	m3			
計						
コンクリートポンプ 圧送		1	式			別紙 00-0013
コンクリートポンプ 圧送	30m3以上 50m3/回未満 基本料金別途加算	35.9	m3			
コンクリートポンプ 圧送	50m3以上100m3/回未満 基本料金別途加算	70.1	m3			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	30m3以上 50m3/回未満	4	回			
コンクリートポンプ 圧送 基本料金	50m3以上100m3/回未満	1	回			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
交通誘導警備員B		10	人			
コーン・パー	賃料4か月 基本料 賃料共	33	m			
ガードフェンス	賃料4か月 基本料 賃料共	53.8	m			
公園占用料	駐車区画4台分 4.0か月	1	式			
工事中情報共有システム利用料		1	式			
計						